

都立高校に関する都民意識調査 (概要)

平成23年9月
東京都教育委員会

目 次

第1章 調査の目的及び調査内容.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査実施状況.....	2
4. 集計・分析にあたって.....	2
第2章 調査1「都民を対象とした調査結果の分析」.....	3
1. 回答者の属性.....	3
2. 都立高校の印象について.....	7
3. 都立高校の役割について.....	9
4. 高校を選択した理由や満足度について.....	10
5. 専門高校・定時制高校について.....	18
6. 都立高校の教育内容について.....	21
7. これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）.....	29
第3章 調査2「企業及び学校を対象とした調査結果の分析」.....	30
1. 新卒者の採用について ※ 東京都で営業する企業を対象.....	30
2. 社会に出るにあたり身に付けてきて欲しいこと ※東京都で営業する企業を対象.....	34
3. 職場見学等の状況について ※東京都で営業する企業を対象.....	36
4. 学校の形態 ※ 東京都内の大学・短期大学・専門学校関係者を対象.....	38
5. 入学してきた学生の印象について ※ 東京都内の大学・短期大学・専門学校関係者を対象.....	39
6. 都立高校の印象について ※企業と学校関係者を対象.....	42
7. 都立高校の役割について ※企業と学校関係者を対象.....	44
8. これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）.....	45

第1章 調査の目的及び調査内容

1. 調査の目的

都立高校に対する都民や企業・大学等の評価について分析するとともに、都民や企業・大学等の都立高校に対するニーズを把握し、今後の都立高校の在り方の検討の参考とする。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

① 調査1

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・東京都に居住する19歳以上60歳以下の方 | 2,500人 |
| ・東京都に居住する高校生 | 500人 |

② 調査2

- | | |
|---------------|------|
| ・東京都で営業する企業 | 300社 |
| ・東京都内の大学・短期大学 | 100校 |
| ・東京都内の専門学校 | 100校 |

(2) 調査対象者の抽出方法

① 調査1 (二段階抽出法により実施)

*住民基本台帳を活用し、地域・人口バランスを考慮した二段階抽出法によって調査対象者を抽出

1) 対象地区の設定

- ・島しょ部を除く10地区毎の人口比で調査地点数を設定

2) 対象地区の抽出

- ・10地区に属する区市町村から町丁目を単位として、乱数を使用して無作為に対象地区を抽出

3) 対象者の抽出

- ・該当地区に属する調査対象者を、住民基本台帳から乱数を使用して無作為に抽出

② 調査2

1) 東京都で営業する企業

- ・「大企業」「中小企業」「小規模企業」を対象に企業規模や業種の構成比を考慮した無作為抽出

2) 東京都内の大学・短期大学

- ・都内の「国公立」「私立」「短期」大学の構成比を考慮して、各形態別に無作為抽出

3) 東京都内の専門学校

- ・都内全ての「専門学校」から無作為抽出

(3) 調査方法

① 調査1

- ・郵送による配布・回収方式

② 調査2

- ・郵送による配布・回収方式

3. 調査実施状況

(1) 調査実施期間

平成 23 年 7 月 7 日～8 月 31 日

(2) 調査票回収数

① 調査 1

- | | | |
|---------------------------|---------|------------|
| ・東京都に居住する 19 歳以上 60 歳以下の方 | 1,268 票 | 回収率： 50.7% |
| ・東京都に居住する高校生 | 221 票 | 回収率： 44.2% |

② 調査 2

- | | | |
|---------------|-------|------------|
| ・東京都で営業する企業 | 156 票 | 回収率： 52.0% |
| ・東京都内の大学・短期大学 | 68 票 | 回収率： 68.0% |
| ・東京都内の専門学校 | 92 票 | 回収率： 92.0% |

4. 集計・分析にあたって

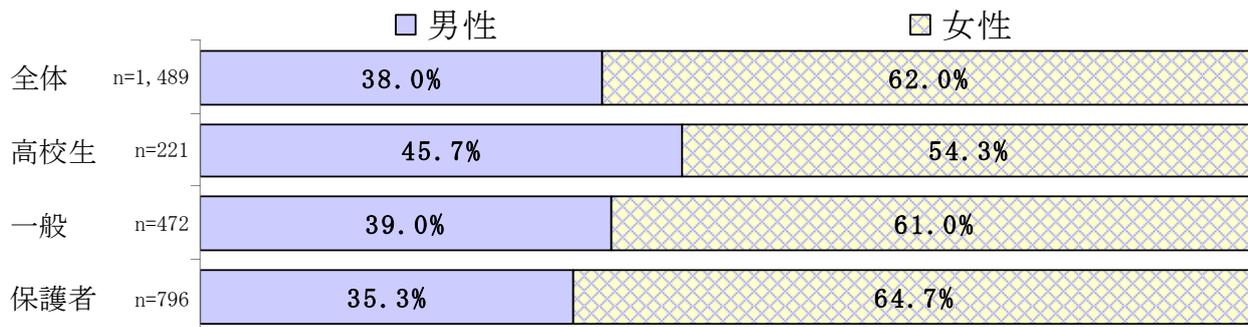
- ・回答比率 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。よって、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問の回答比率は、各項目の回答数に対して対象者数を母数として算出した。よって、項目の回答比率の合計は 100%を超える。

第2章 調査1「都民を対象とした調査結果の分析」

1. 回答者の属性

1-1. 性別

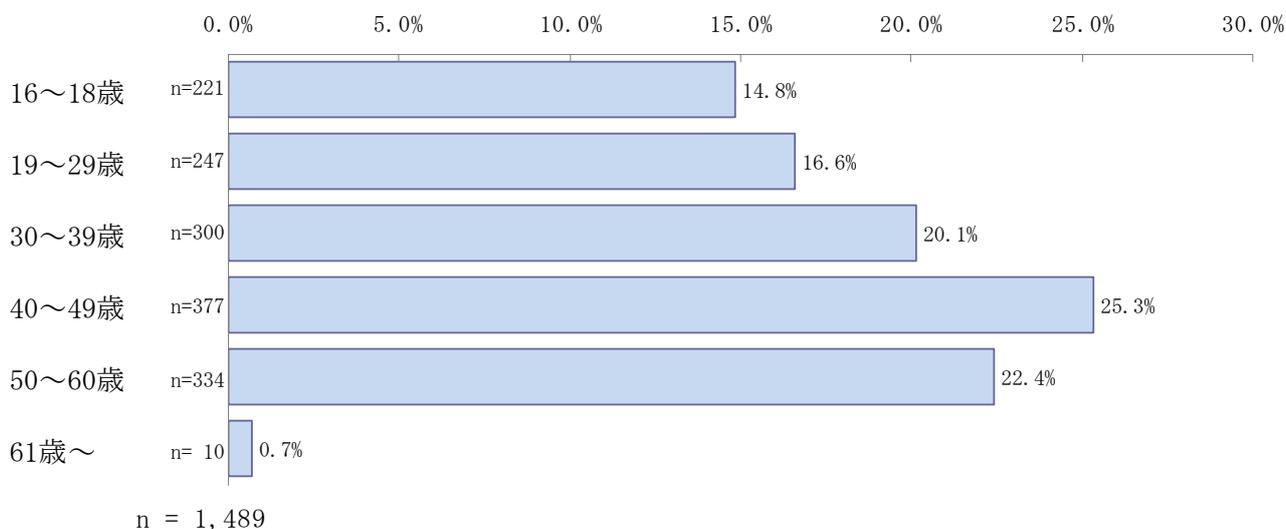
問1 あなたの性別をご回答ください。



1-2. 年齢

問2 あなたの年齢をご回答ください。

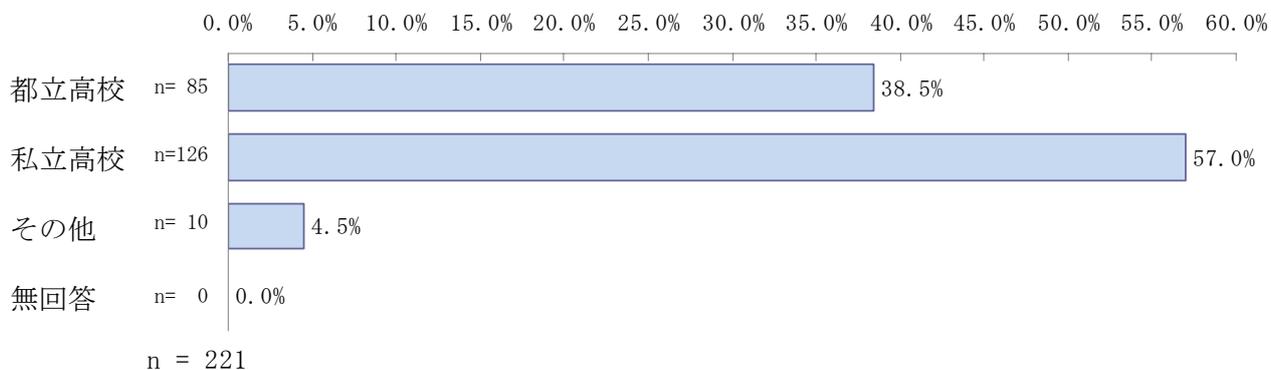
(平成24年3月31日時点の年齢に該当するものに○)



1-3. 在学学校の形態

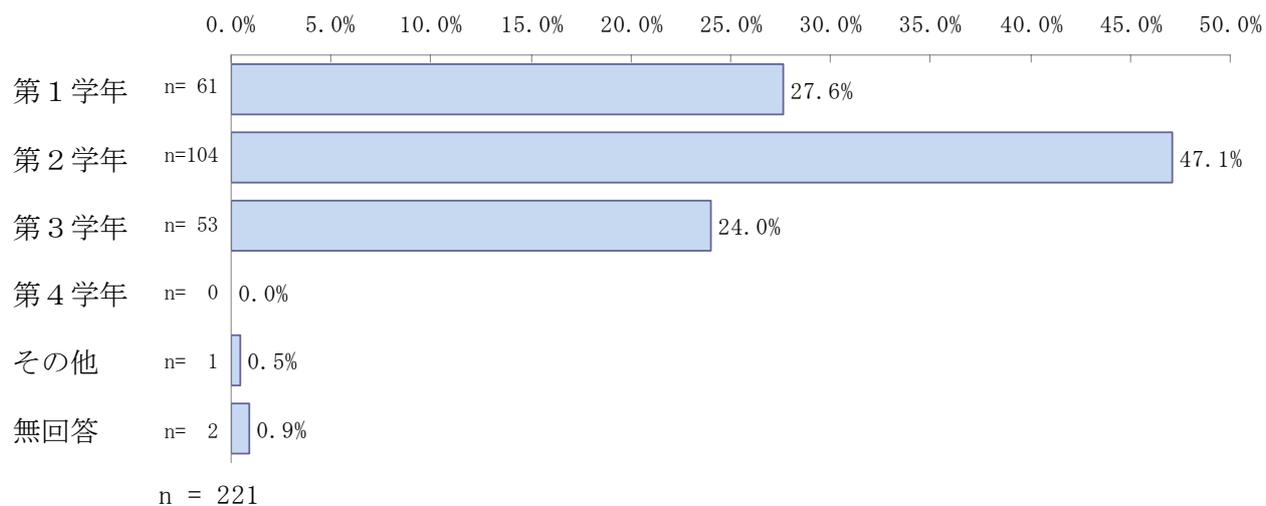
◎高校生のみにお聞きします。

問3 あなたの在学している学校は次のどれですか。



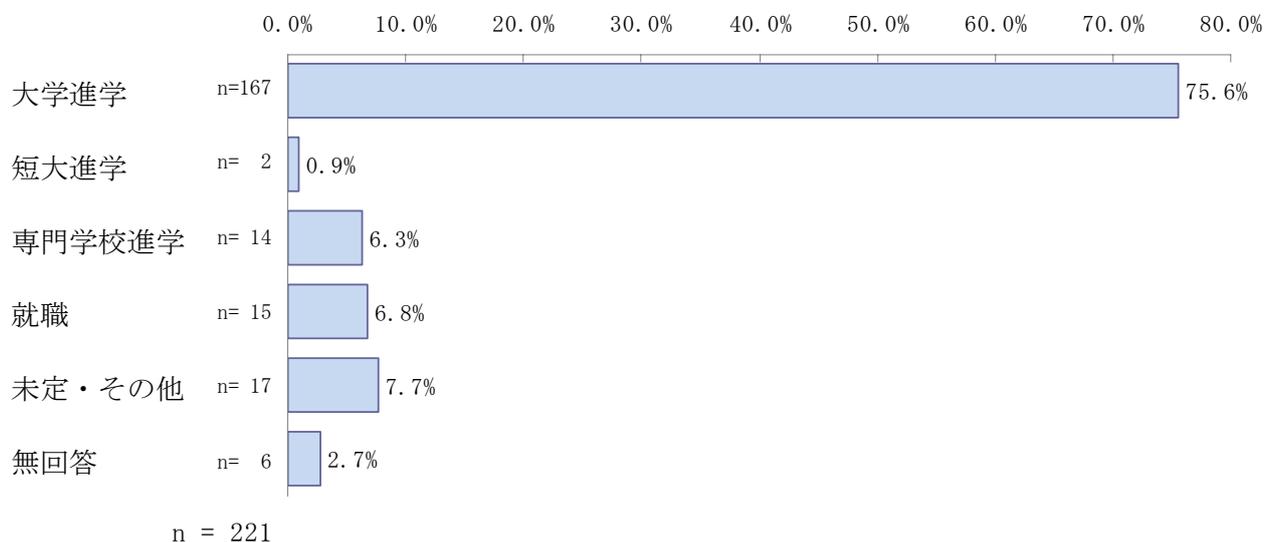
1-4. 学年

問4 あなたの学年は次のどれですか。



1-5. 卒業後の進路

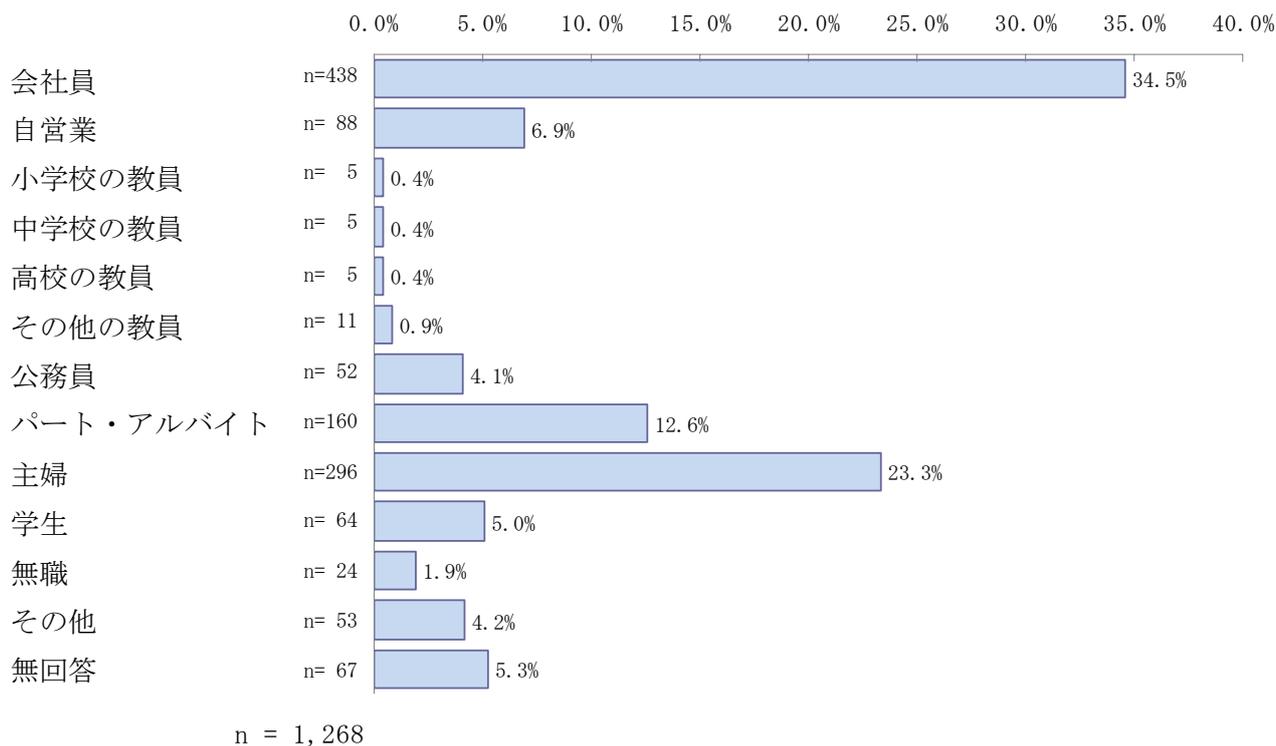
問5 現在考えている高校卒業後のあなたの進路志望は次のどれですか。



1-6. 職業

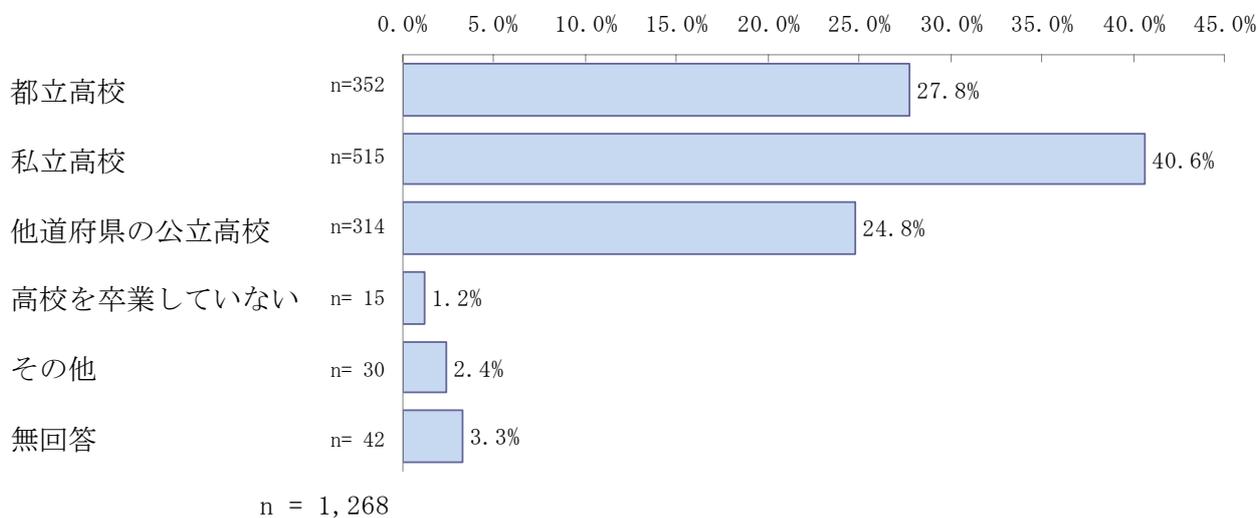
◎高校生以外の方のみにお聞きします。

問6 あなたの職業は次のどれですか。(主なもの1つに○)



1-7. 卒業高校の形態

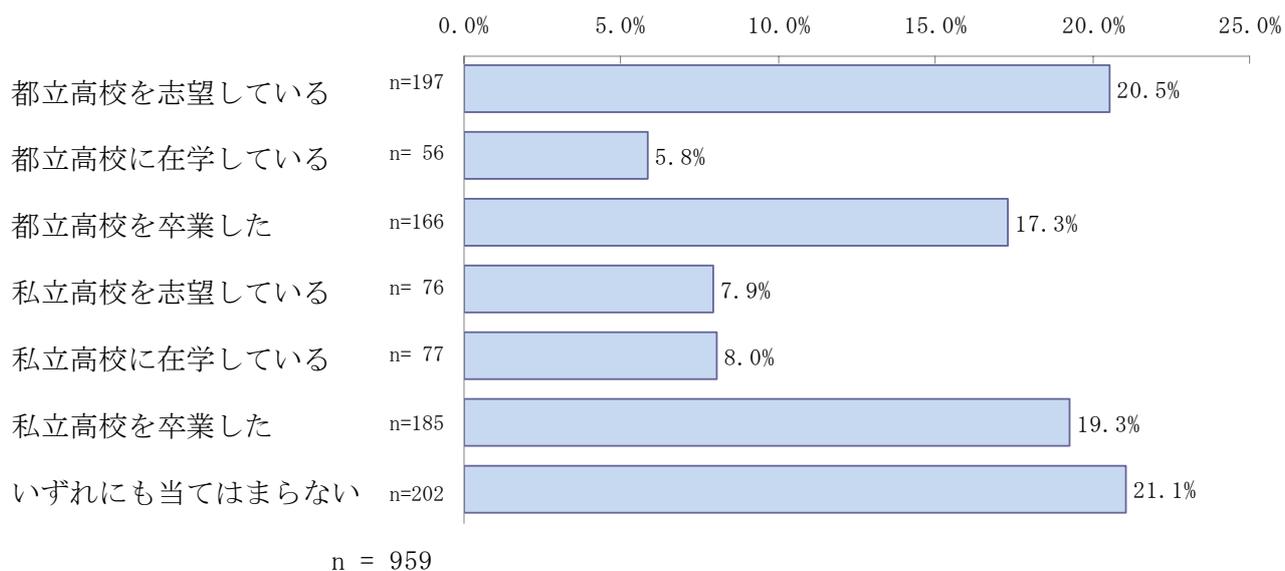
問7 あなたご自身が卒業した高校は次のどれですか。(1つに○)



1-8. 子供の状況

◎お子様がいらっしゃる方のみにお聞きします。

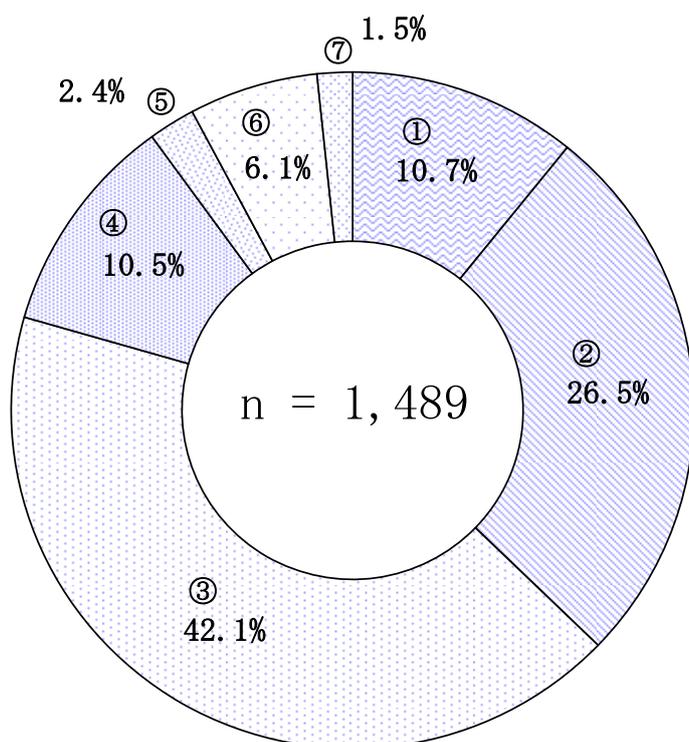
問8 あなたのお子様の状況は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)



2. 都立高校の印象について

2-1. 都立高校の印象

問9 あなたは都立高校についてどのような印象をお持ちですか。(1つに○)



- ① 良い印象がある
- ② どちらかというの良い印象がある
- ③ どちらとも言えない
- ④ どちらかというの悪い印象がある
- ⑤ 悪い印象がある
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

—都立高校の印象については、肯定的印象が37.2%と多い—

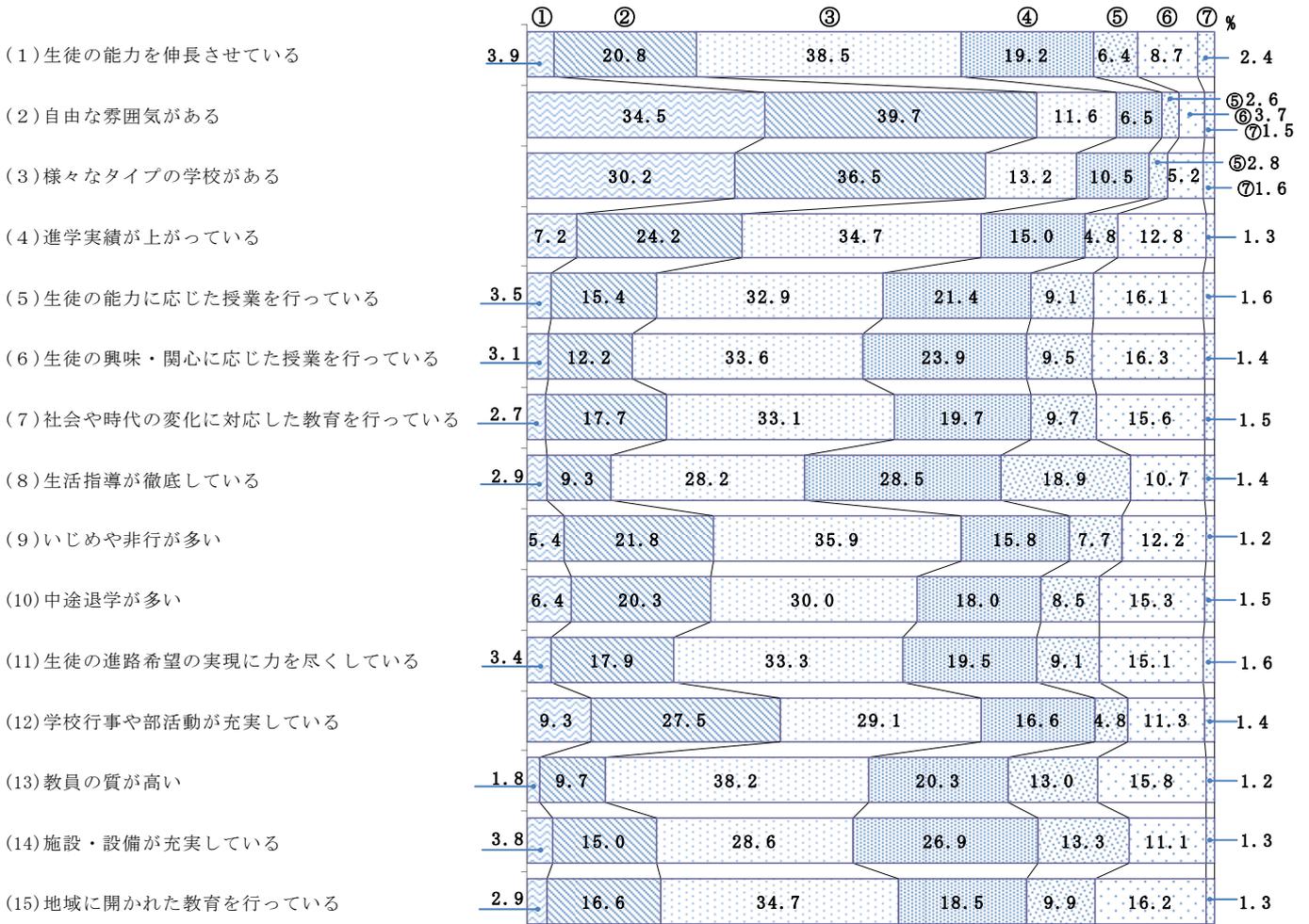
都立高校の印象について、「良い印象がある」「どちらかというの良い印象がある」を合わせた肯定的印象が37.2%で、「悪い印象がある」「どちらかというの悪い印象がある」を合わせた否定的印象の12.9%より多くなっている。

また、「どちらとも言えない」が42.1%となっている。

2-2. 都立高校の項目別印象

問 10 都立高校の印象は、それぞれどれに該当しますか。(項目ごとに1つ○)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答



n = 1,489

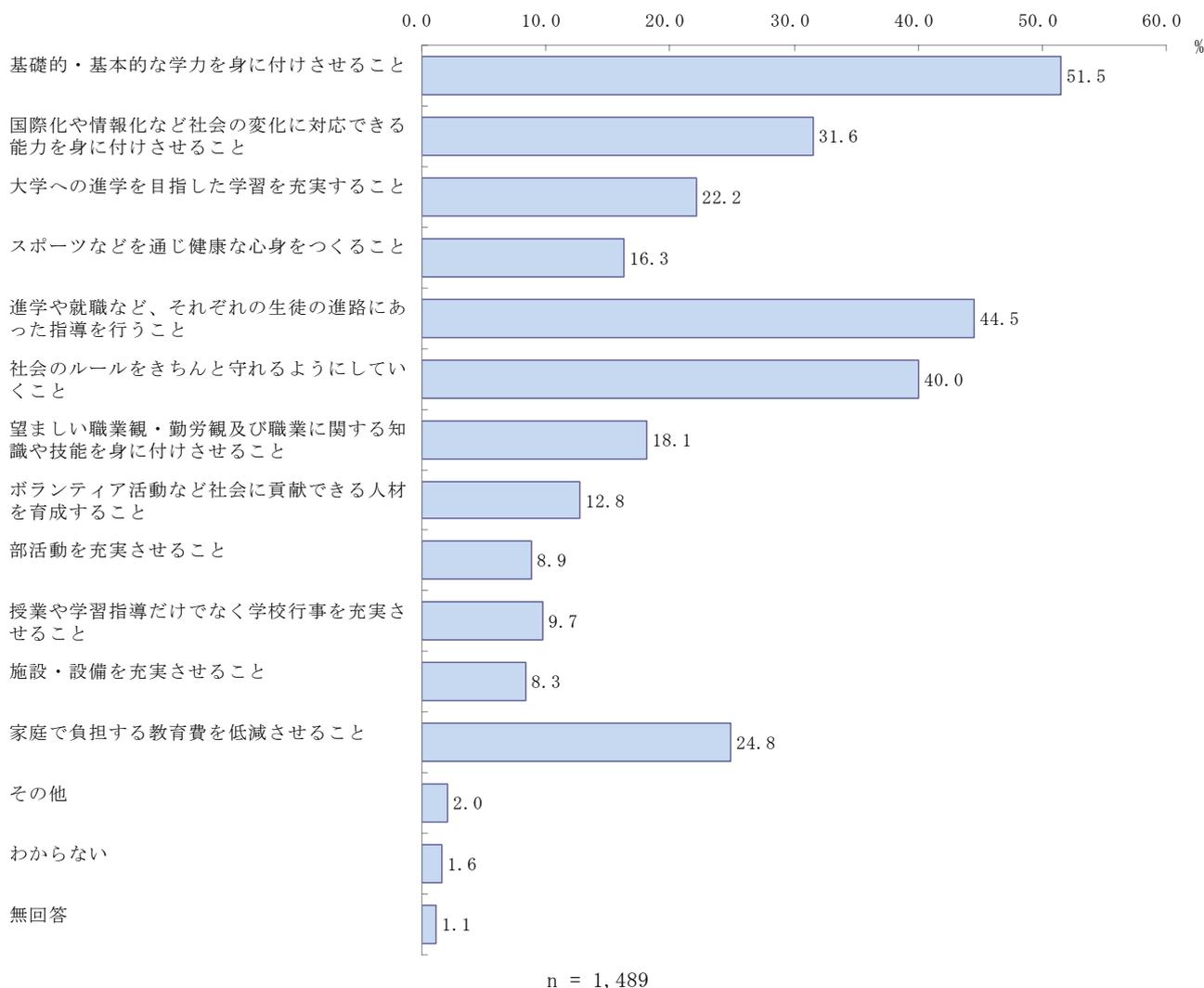
一項目別に見ると、「自由な雰囲気がある」「様々なタイプの学校がある」には肯定的印象が多く、「生活指導が徹底している」「施設・設備が充実」「生徒の興味・関心に応じた授業」等では否定的印象が多い。

「自由な雰囲気がある」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が74.2%と最も多く、次いで「様々なタイプの学校がある」の66.7%となっている。

一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「生活指導が徹底している」が47.4%と最も多く、次いで「施設・設備が充実している」の40.2%、「生徒の興味・関心に応じた授業を行っている」の33.4%、「教員の質が高い」の33.3%となっている。

3. 都立高校の役割について

問 11 都立高校に特に期待する役割は次のどれですか。(3つに○)



一都立高校に期待する役割については、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が51.5%と多い一

都立高校に期待する役割について、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が51.5%と最も多く、次いで「進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと」の44.5%、「社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと」の40.0%となっている。

4. 高校を選択した理由や満足度について

4-1. 高校を選んだ理由

◎あなたかあなたのお子様が、都内にある都立や私立の高校に在学中、あるいは卒業された方にお聞きします。

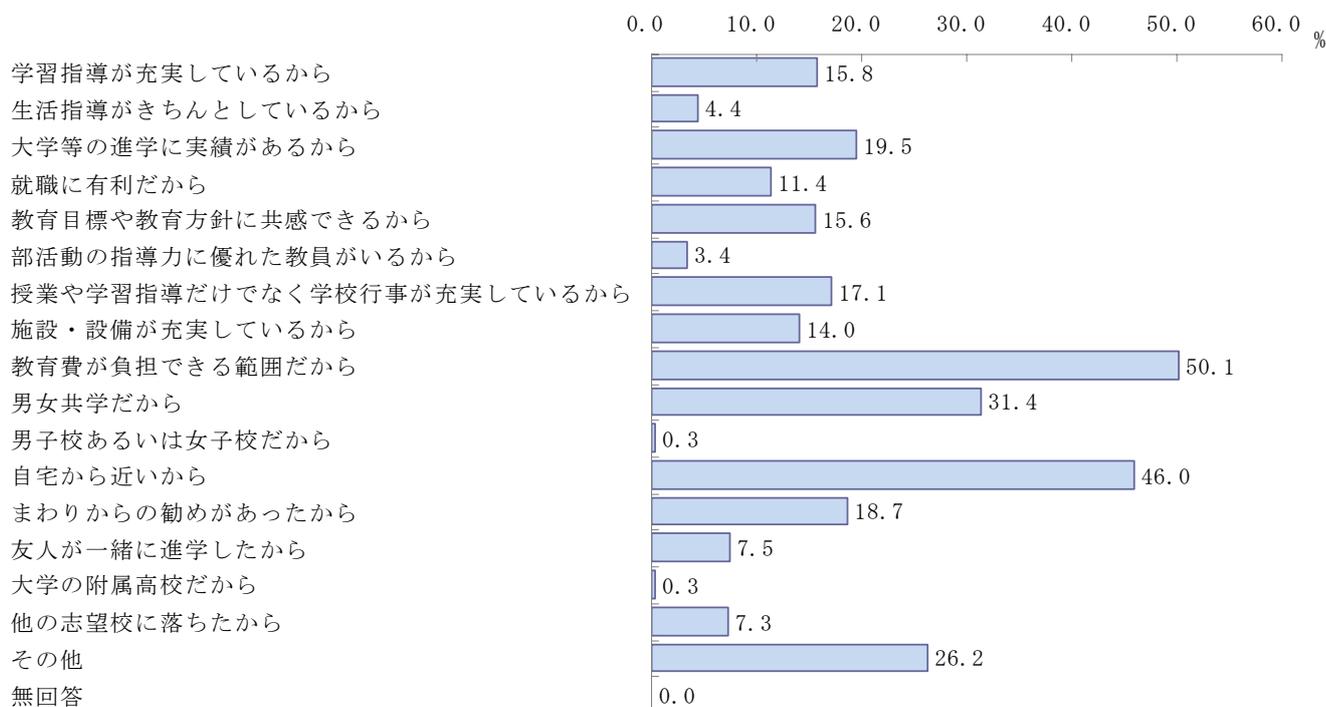
問 12 高校をお選びになった理由をお答えください。

- (1) あなたの状況（問 12-1, 問 12-2, 問 12-3, 問 12-4）にあてはまるものすべてに○
(2) 「高校をお選びになった理由」を以下より選んでください。

(問 12-1) あなたご自身が都立高校に在学中、あるいは卒業している。（3つに○）

○ 本人が都立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



n = 385

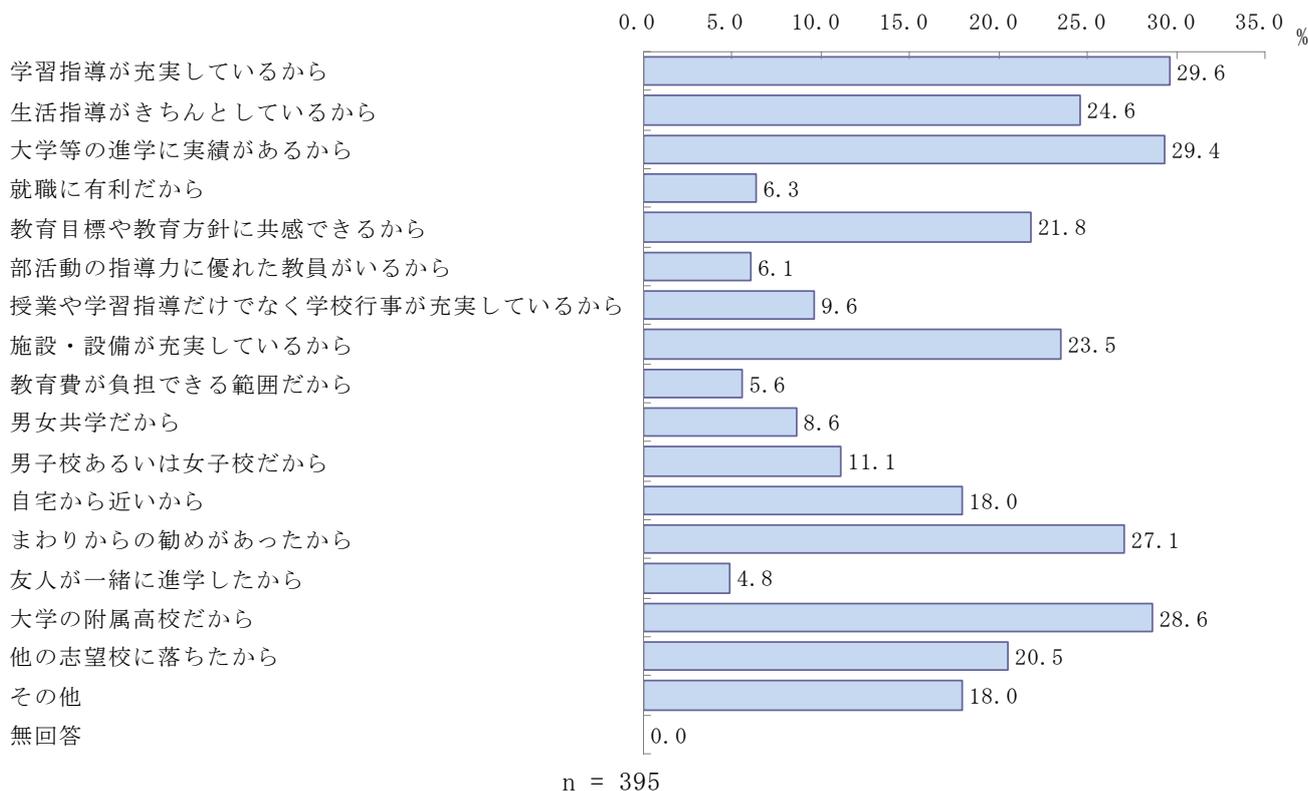
一都立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「教育費が負担できる範囲だから」が50.1%と多い一

都立高校を選んだ理由について、「教育費が負担できる範囲だから」が50.1%と最も多く、次いで「自宅から近いから」の46.0%、「男女共学だから」の31.4%となっている。

(問 12-2) あなたご自身が私立高校に在学中、あるいは卒業している。(3つに○)

○ 本人が私立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



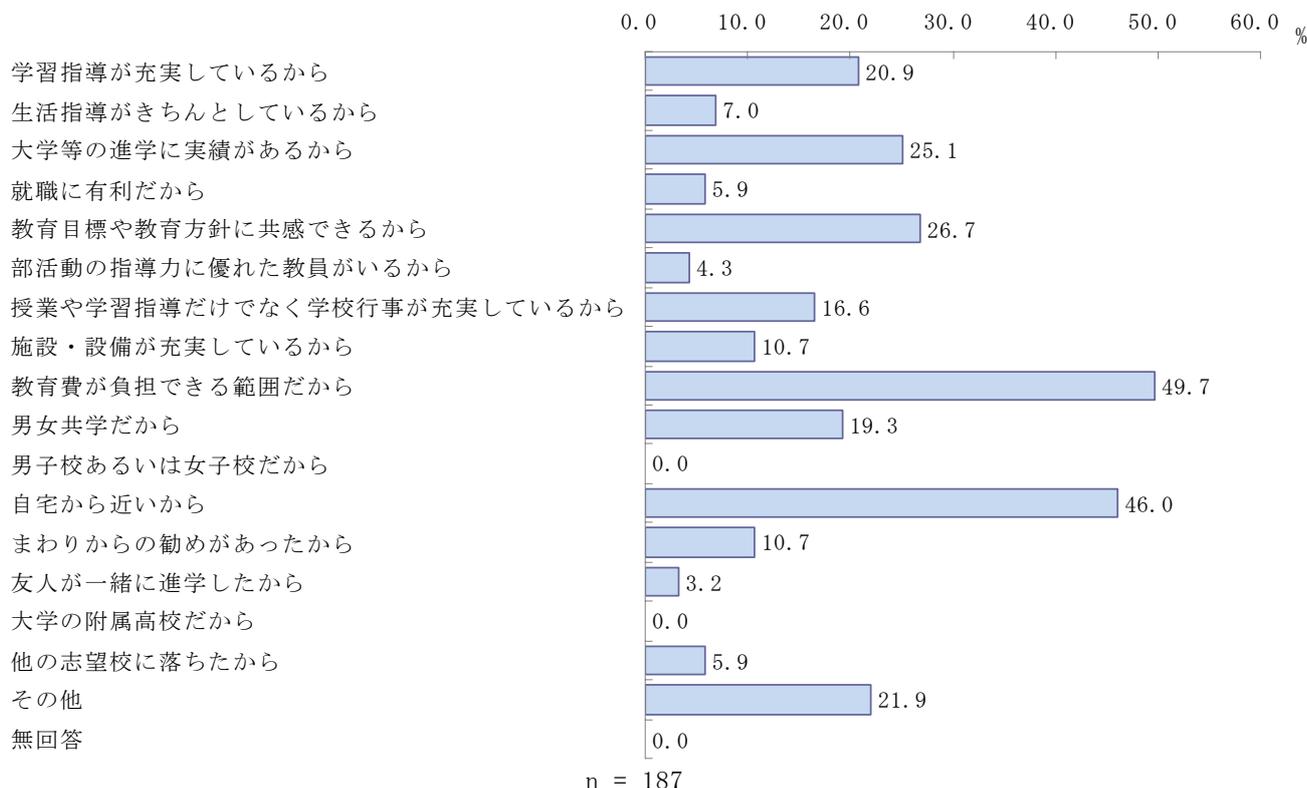
—私立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「学習指導が充実しているから」「大学等の進学に実績があるから」「大学の附属高校だから」が拮抗している—

私立高校を選んだ理由について、「学習指導が充実しているから」が29.6%、「大学等の進学に実績があるから」が29.4%、「大学の附属高校だから」が28.6%と拮抗した結果となっている。

(問 12-3) あなたのお子様が都立高校に在学中、あるいは卒業している。(3つに○)

○ お子様が都立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



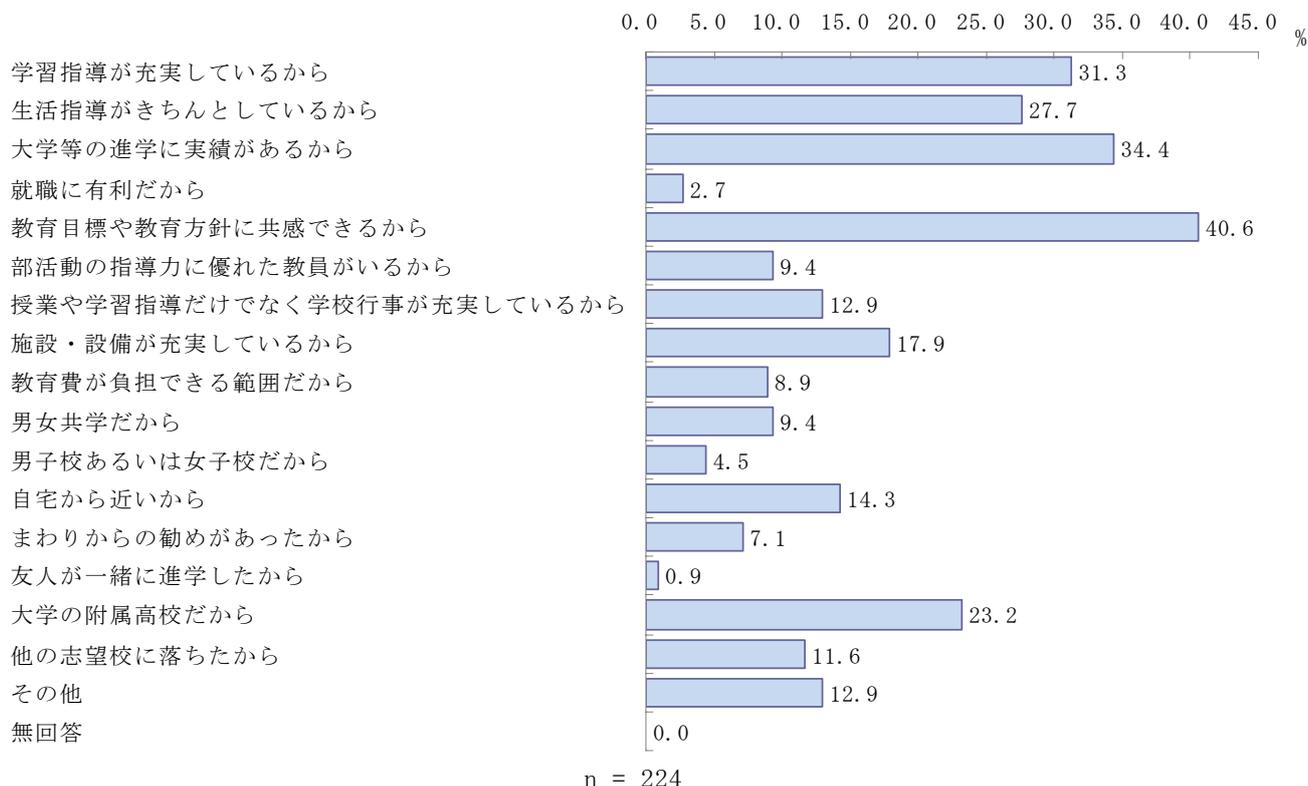
一子供が都立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「教育費が負担できる範囲だから」が49.7%と多い

都立高校を選んだ理由について、「教育費が負担できる範囲だから」が49.7%と最も多く、次いで「自宅から近いから」の46.0%となっている。

(問 12-4) あなたのお子様が私立高校に在学中、あるいは卒業している。(3つに○)

○ お子様が私立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



— 子供が私立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「教育目標や教育方針に共感できるから」が 40.6%と多い —

私立高校を選んだ理由について、「教育目標や教育方針に共感できるから」が 40.6%と最も多く、次いで「大学等の進学に実績があるから」の 34.4%、「学習指導が充実しているから」の 31.3%となっている。

4-2. 高校の満足度

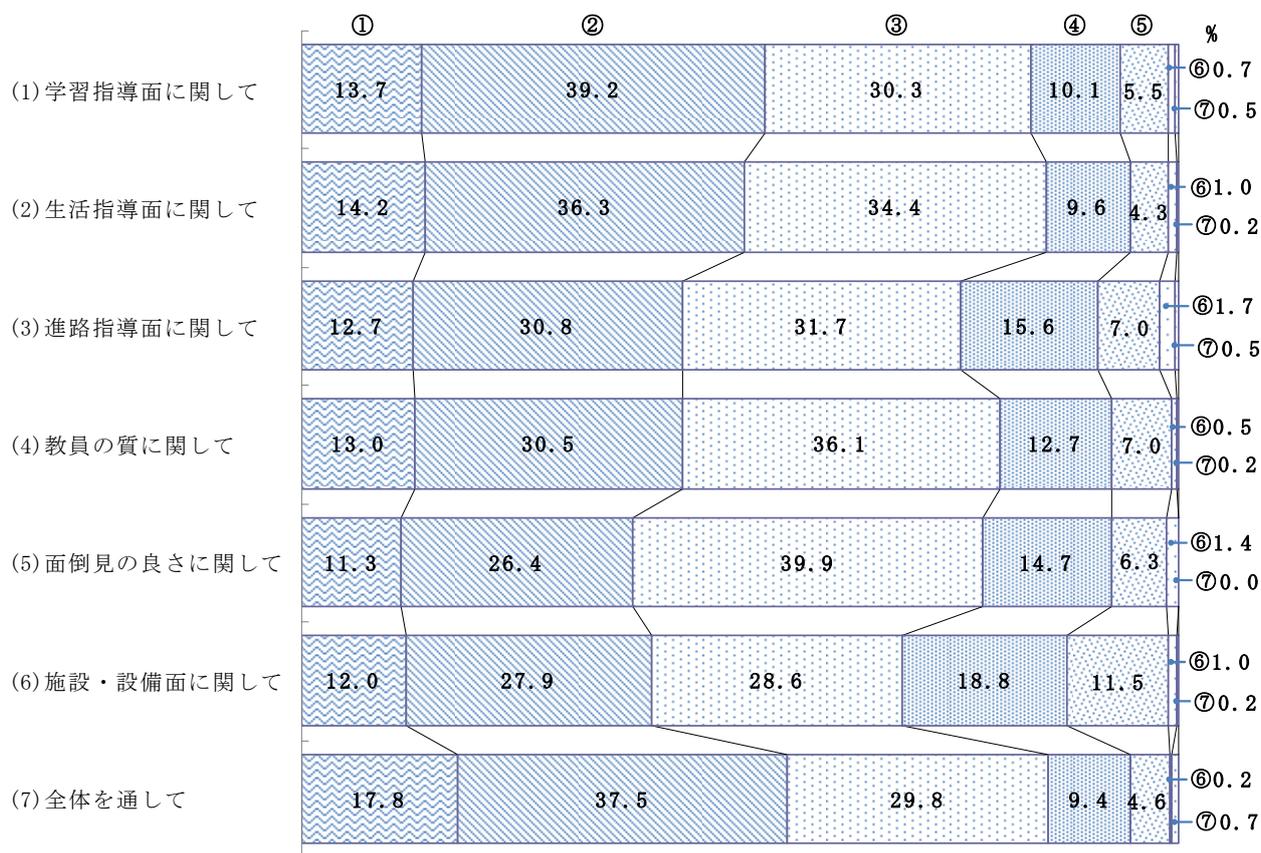
問13 以下（問13-1，問13-2，問13-3）の項目について、お選びになった高校に満足していますか。（当てはまる項目についてご回答ください。）

（問13-1）あなたご自身が都内の都立や私立の高校に在学中、あるいは卒業された方（項目ごとに1つ〇）

〇 本人が都内の都立高校に在学中、あるいは卒業

〈 満足度 〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか といえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか といえば 不満	不満	わからな い	無回答



n = 416

一都内の都立高校の満足度は、「全体を通して」「学習指導面に関して」「生活指導面に関して」の肯定的意見が5割を超えている一

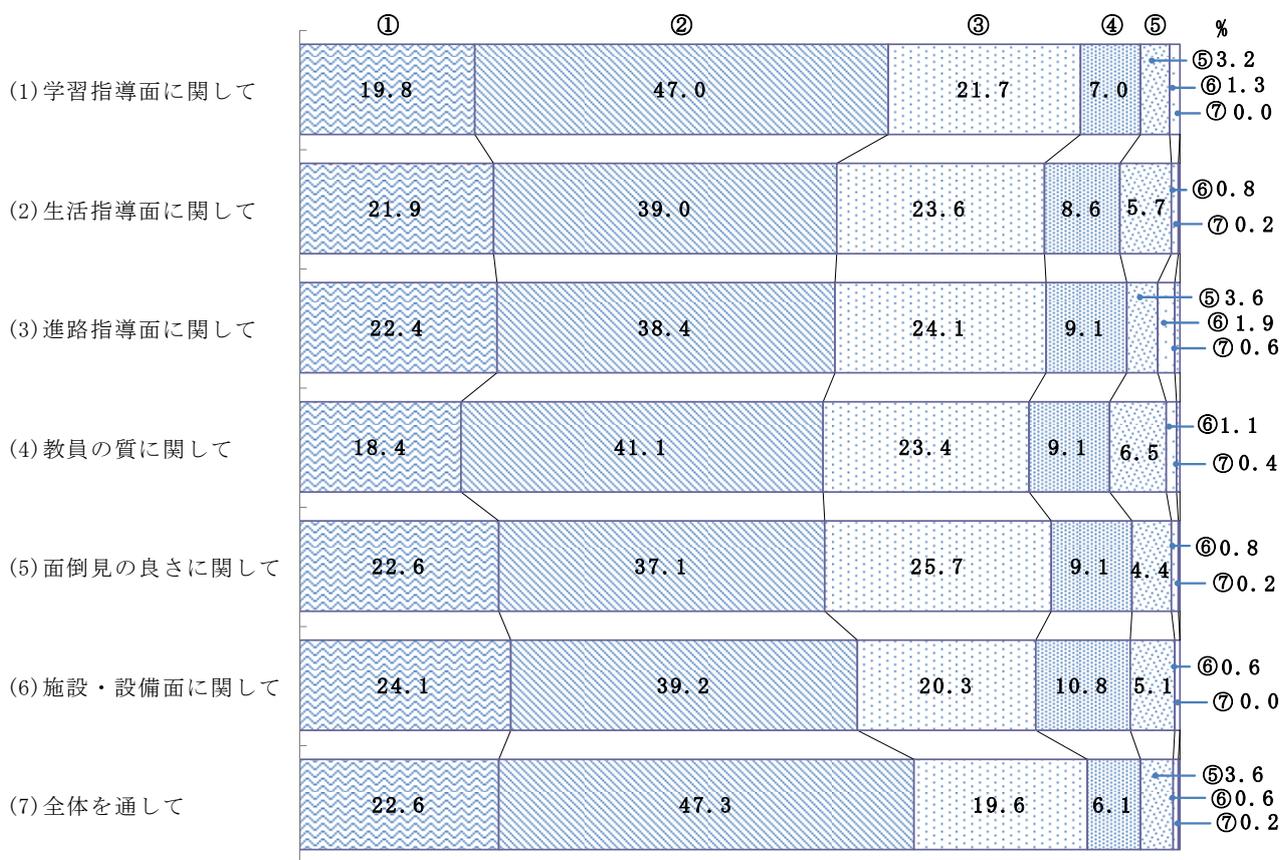
「全体を通して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が55.3%と最も多く、次いで「学習指導面に関して」の52.9%、「生活指導面に関して」の50.5%と5割を超えている。他の項目では「進路指導面に関して」「教員の質に関して」が43.5%で同数となっている。

(問 13-1) あなたご自身が都内の都立や私立の高校に在学中、あるいは卒業された方
(項目ごとに1つ○)

○ 本人が都内の私立高校に在学中、あるいは卒業

〈 満足度 〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか といえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか といえば 不満	不満	わからな い	無回答



n = 474

— 都内の私立高校の満足度は、全ての項目で肯定的意見がほぼ6割と高い —

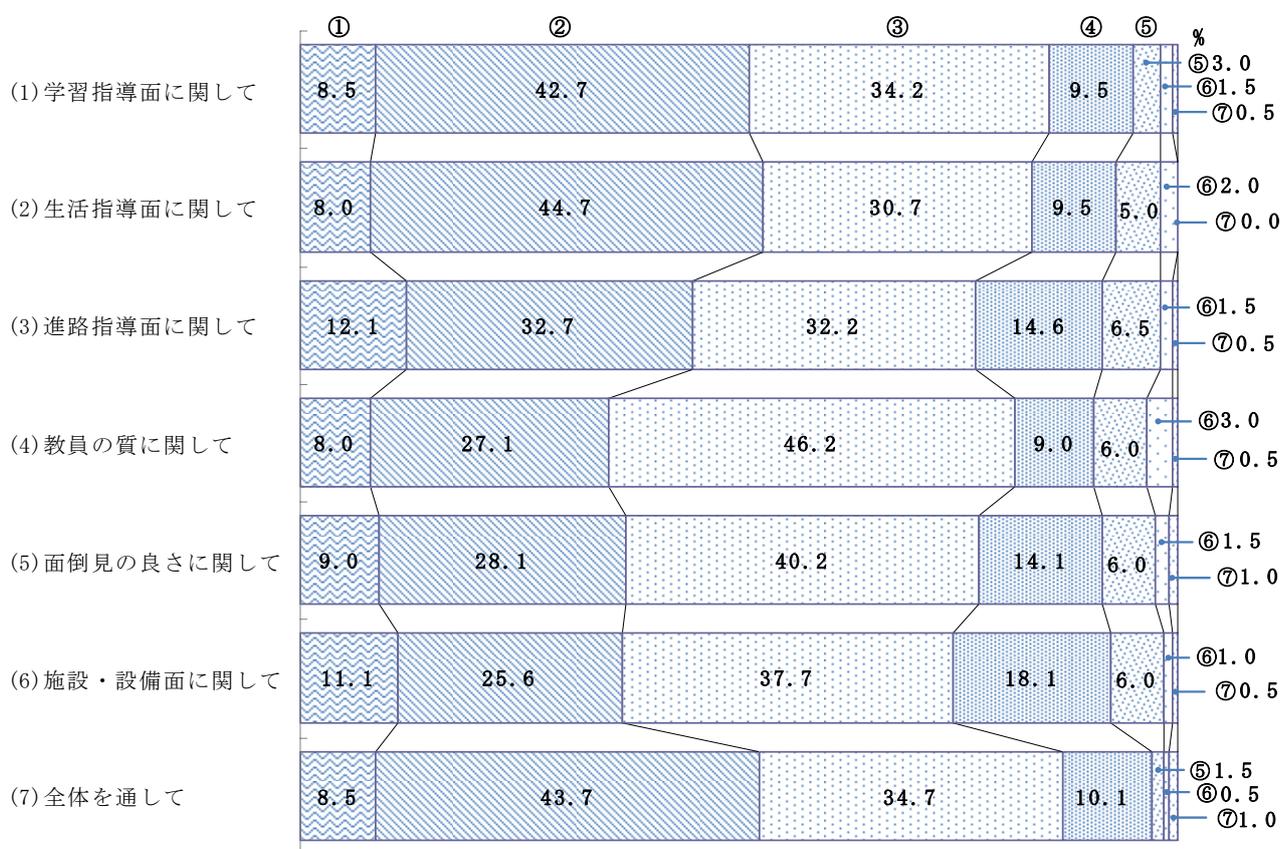
「全体を通して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が69.9%と最も多く、次いで「学習指導面に関して」の66.8%、「施設・設備面に関して」の63.3%、「生活指導面に関して」の60.9%、「進路指導面に関して」の60.8%と6割を超えている。他の項目も肯定的意見が6割近い結果となっている。

(問 13-2) あなたのお子様が都立高校に在学中、あるいは卒業された方(項目ごとに1つ○)
 ※保護者の立場でお答えください

○ お子様が都立高校に在学中、あるいは卒業

〈 満足度 〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか といえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか といえば 不満	不満	わからな い	無回答



n = 199

一都立高校に対する保護者の満足度については、「生活指導面に関して」の肯定的意見が52.7%と多い一

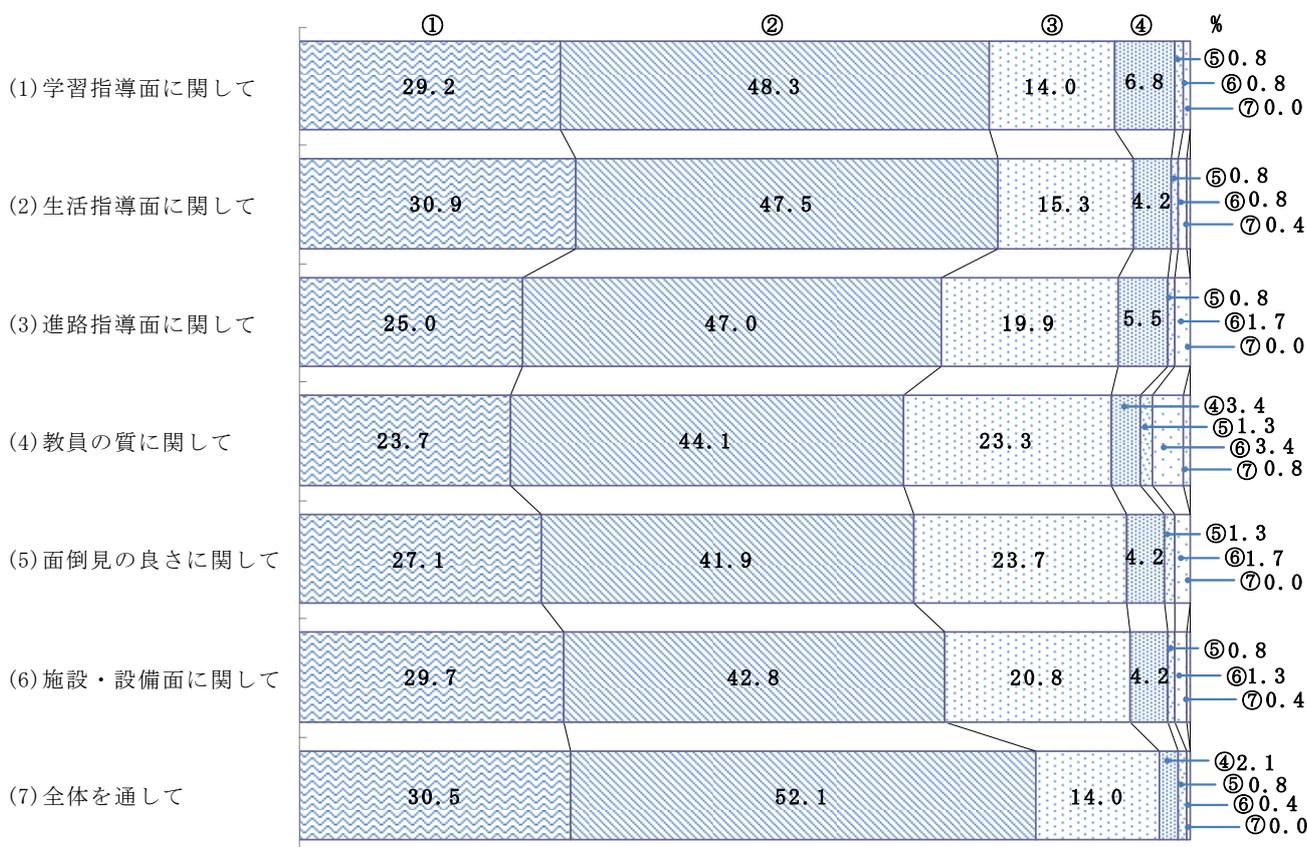
「生活指導面に関して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が52.7%と最も多く、次いで「全体を通して」の52.2%、「学習指導面に関して」の51.2%となっている。

(問 13-3) あなたのお子様が私立高校に在学中、あるいは卒業された方(項目ごとに1つ○)
 ※保護者の立場でお答えください

○ お子様が私立高校に在学中、あるいは卒業

〈 満足度 〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか といえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか といえば 不満	不満	わからな い	無回答



n = 236

—私立高校に対する保護者の満足度については、「全体を通して」の肯定的意見が 82.6%と多い—

「全体を通して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が 82.6%と最も多く、次いで「生活指導面に関して」の 78.4%、「学習指導面に関して」の 77.5% となり、その他の項目も 7 割近くが肯定的意見となっている。

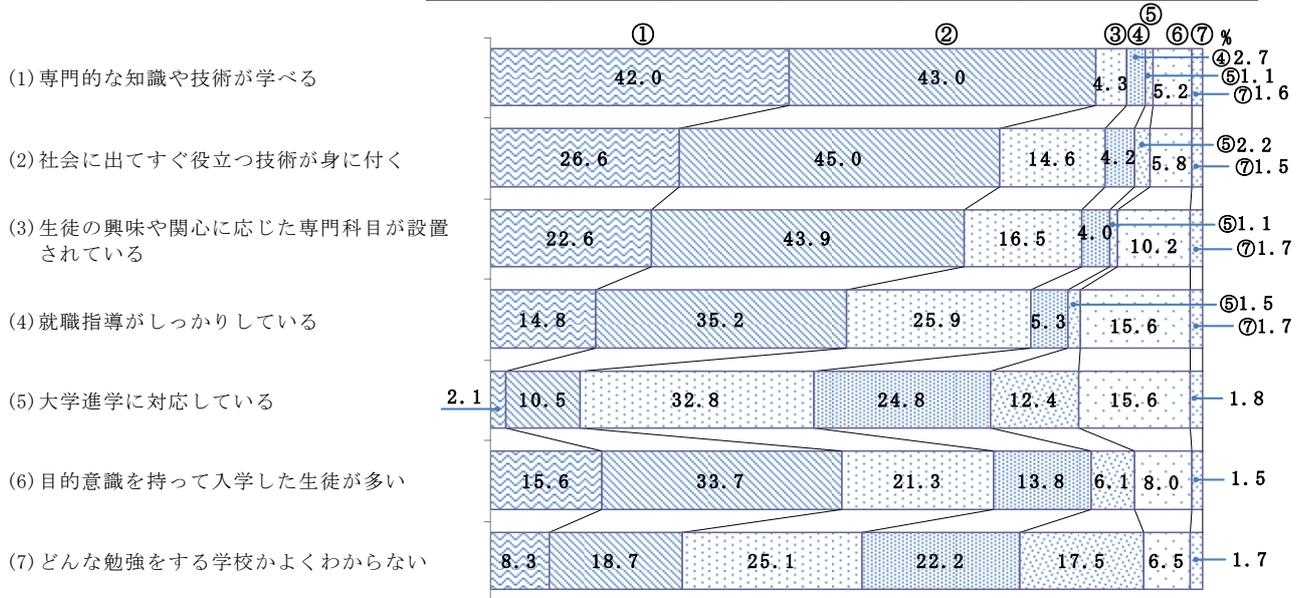
なお、否定的意見は全ての項目で 1 割以下となっている。

5. 専門高校・定時制高校について

5-1. 都立専門高校（職業高校）の印象について

問 14 都立の専門高校（職業高校）の印象は、それぞれどれに該当しますか。
（項目ごとに1つ○）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答



n = 1,489

《専門高校（職業高校）》

専門高校（職業高校）は、農業、工業、商業、家庭等について専門的に学ぶ高校です。将来のスペシャリストを目指して、普通科目と専門科目を学びます。

○普通科にはない実践的な教育

実習などの体験的な学習をとおして、専門的な技術や勤労観・職業観を身に付けることができます。普通科にはない魅力ある教育を行っています。在学中に様々な資格を取得できます。

○農業高校の特色

緑豊かな環境の中で、充実した施設・設備を活用して、園芸系、畜産系、食品系、環境系の技術を学ぶことができます。

○工業高校の特色

工業立国日本を支える技術者を目指して、機械系、電気・電子系、化学系、建築系、工芸系などの技術を体験しながら学ぶことができます。

○商業高校の特色

社会に役立つ商業系、情報処理系、総合ビジネス系の知識や技術を学びながら、いろいろな資格を取得して就職や進学に役立てることができます。

○家庭学科を置く高校の特色

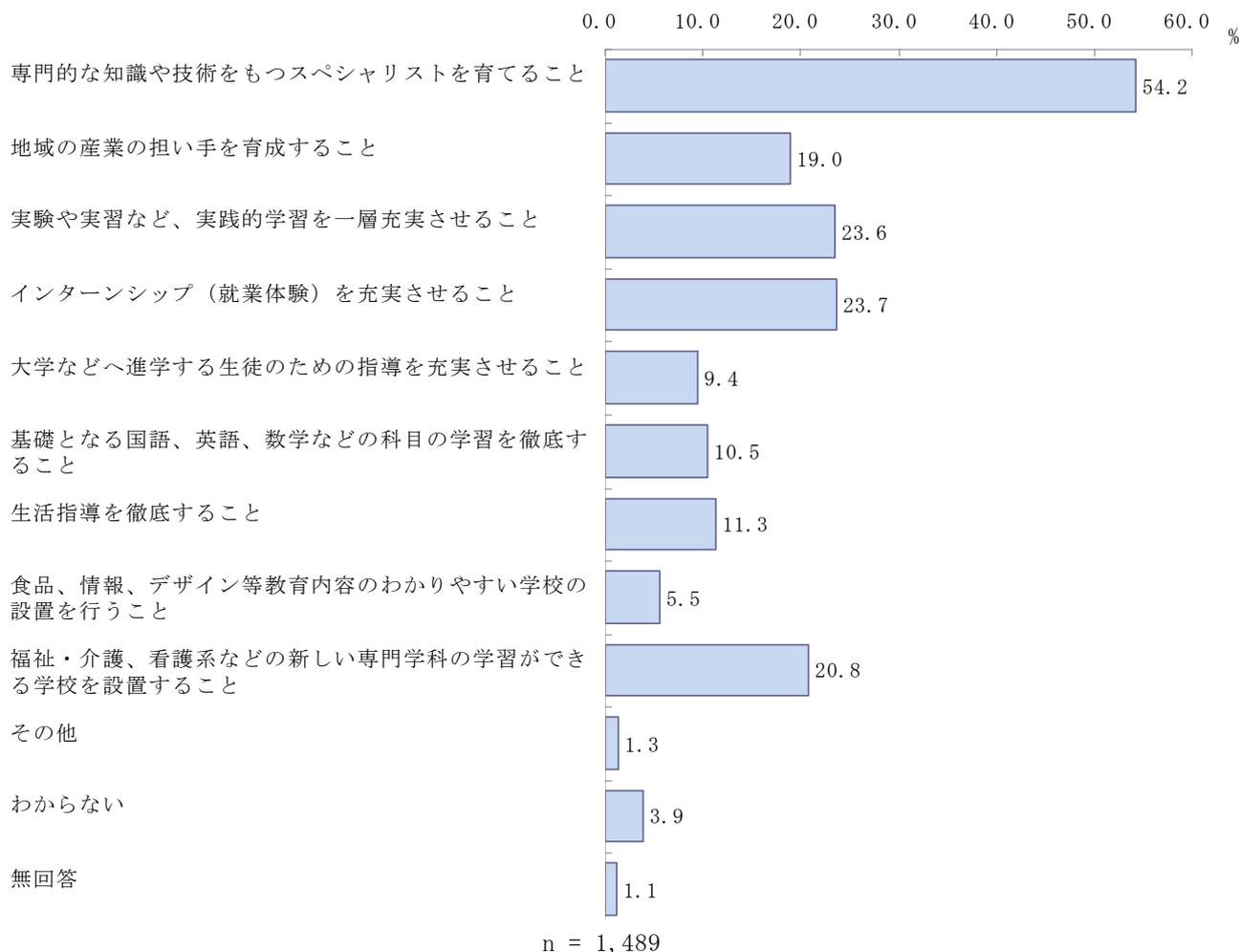
将来の栄養士、保育士、デザイナー等になるための基礎・基本を学びながら、家政系、食物系、服飾系、生活デザイン系の技術を学ぶことができます。

— 都立の専門高校（職業高校）の印象は、「専門的な知識や技術が学べる」の肯定的印象が85.0%と多い —

「専門的な知識や技術が学べる」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は85.0%と最も多く、次いで「社会に出てすぐ役立つ技術が身に付く」の71.6%となっている。一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「大学進学に対応している」が37.2%と多くなっている。

5-2. これからの都立専門高校（職業高校）で重視してほしい教育内容

問 15 これからの都立専門高校（職業高校）の教育で特に取り組むべきことは何だとお考えですか。（2つに○）

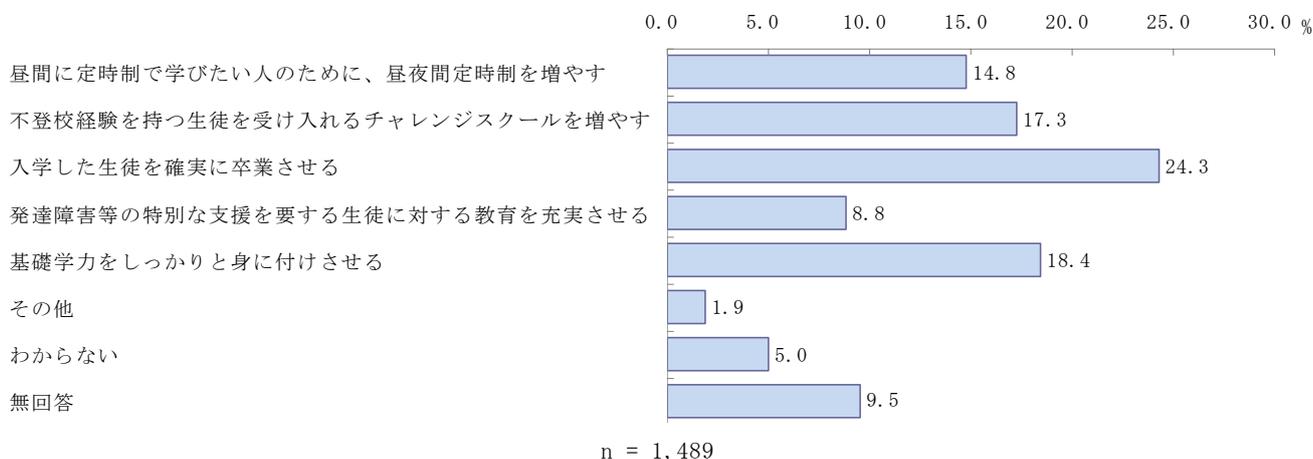


— 都立専門高校（職業高校）の教育で特に取り組むべきことは、「専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること」が54.2%と多い —

都立専門高校（職業高校）の教育で特に取り組むべきこととして、「専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること」が54.2%と最も多く、次いで「インターンシップ（就業体験）を充実させること」の23.7%、「実験や実習など、実践的学習を一層充実させること」の23.6%となっている。

5-3. これからの定時制教育で取り組むべきこと

問 16 これからの定時制教育で特に取り組むべきことは何だとお考えですか。(1つに○)



《都立の定時制高校について》

平成23年5月現在定時制高校は55校あり、このうち夜間だけでなく昼間も学べる昼夜間定時制高校（チャレンジスクール5校を含む）は11校設置されています。都立の全日制は1クラスの定員を35～40人にしていますが、定時制では定員を30人としてきめ細かな指導を行っています。

近年、夜間定時制高校では働きながら学ぶ生徒が少数となり、不登校経験を持つ生徒や全日制高校を中途退学した生徒など多様な生徒を受け入れています。また、この変化に伴い、現在の夜間定時制には昼間に学ぶことを希望する生徒が多く在籍するようになっていきます。

一方、定時制高校の中途退学率は、平成21年度で12.9%となっており、同時期の全日制の中途退学率1.8%に比べ高い割合となっています。

さらに、平成21年8月の「特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議高等学校ワーキング・グループ」（文部科学省）の報告によると、高等学校進学者のうち発達障害等の特別な支援を要する生徒の割合は約2%と報告されており、全日制に比べ定時制では相対的に高い割合であるとの回答を得ています。

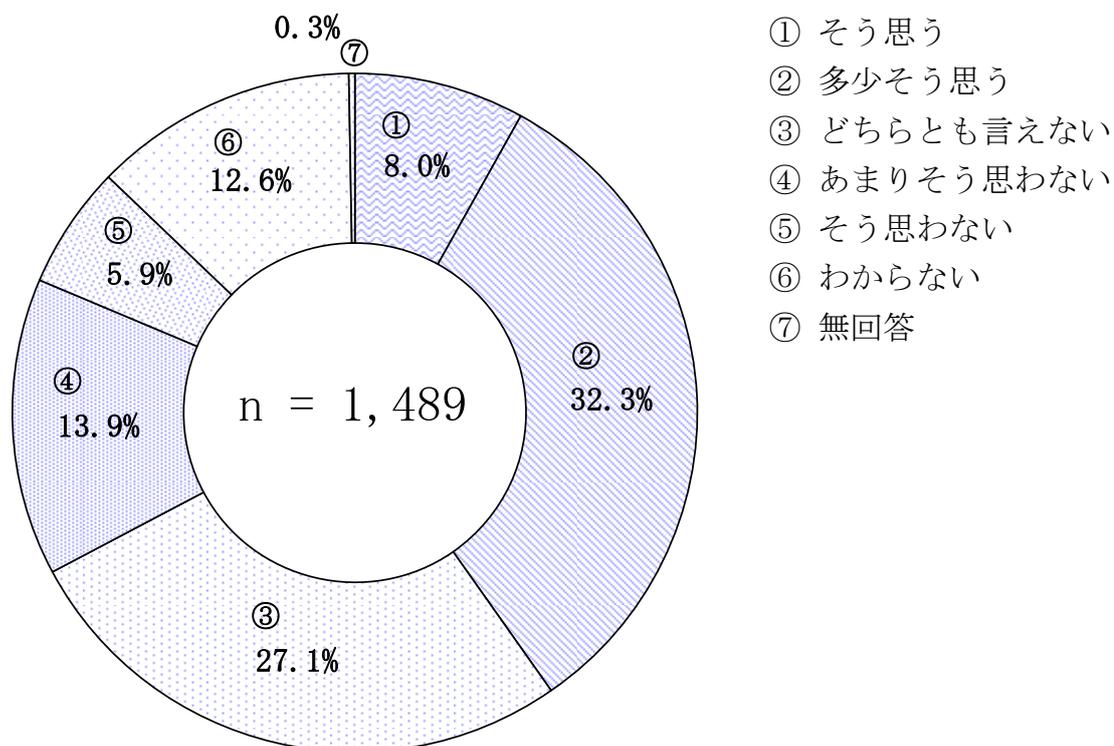
— これからの定時制教育で特に取り組むべきことは、「入学した生徒を確実に卒業させる」が24.3%と多い —

これからの定時制教育で特に取り組むべきこととして、「入学した生徒を確実に卒業させる」が24.3%と最も多く、次いで「基礎学力をしっかりと身に付けさせる」の18.4%、「不登校経験を持つ生徒を受け入れるチャレンジスクールを増やす」の17.3%、「昼間に定時制で学びたい人のために、昼夜間定時制を増やす」の14.8%となっている。

6. 都立高校の教育内容について

6-1. 生徒の学力向上について

問 17 都立高校は生徒の学力を向上させていると思いますか。(1つに○)

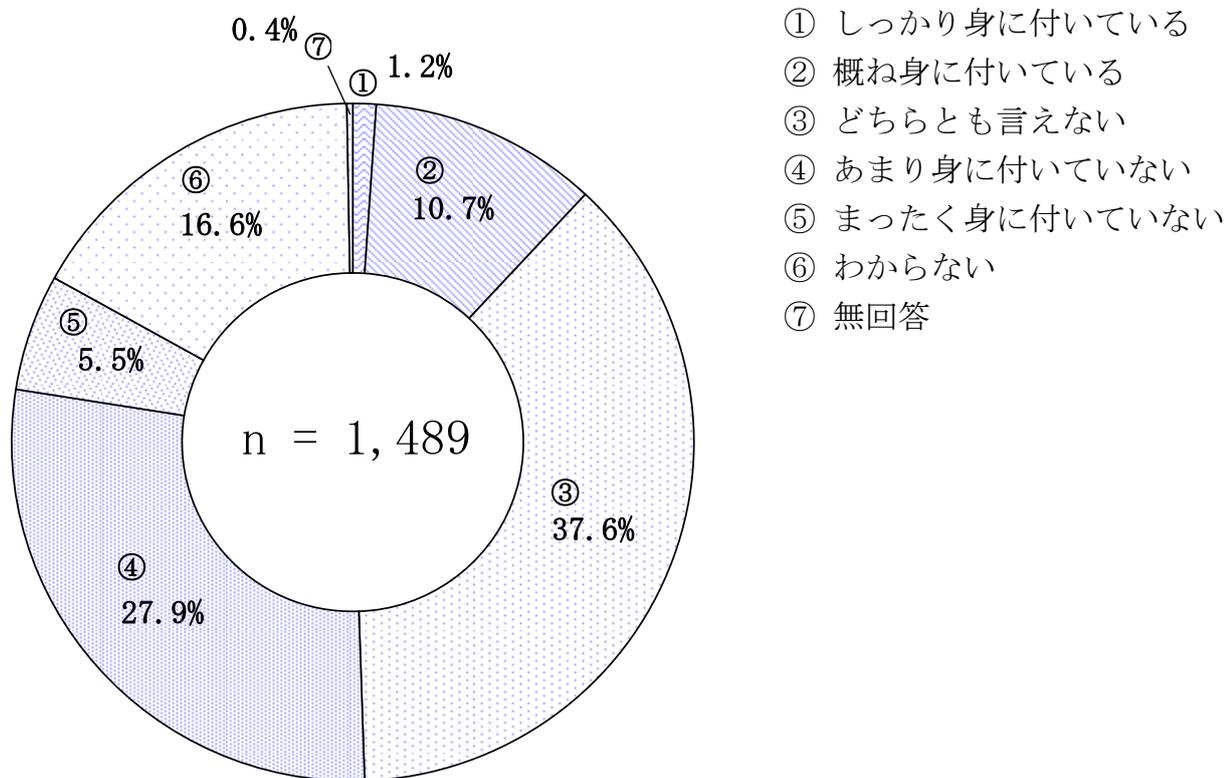


— 「都立高校は生徒の学力を向上させているか」については、肯定的意見が40.3%と多い—

学力の向上について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的意見が40.3%で、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的意見の19.8%より多くなっている。

6-2. 生徒の勤労観と職業観について

問 18 生徒に勤労観や職業観が身に付いていると感じていますか。(1つに○)



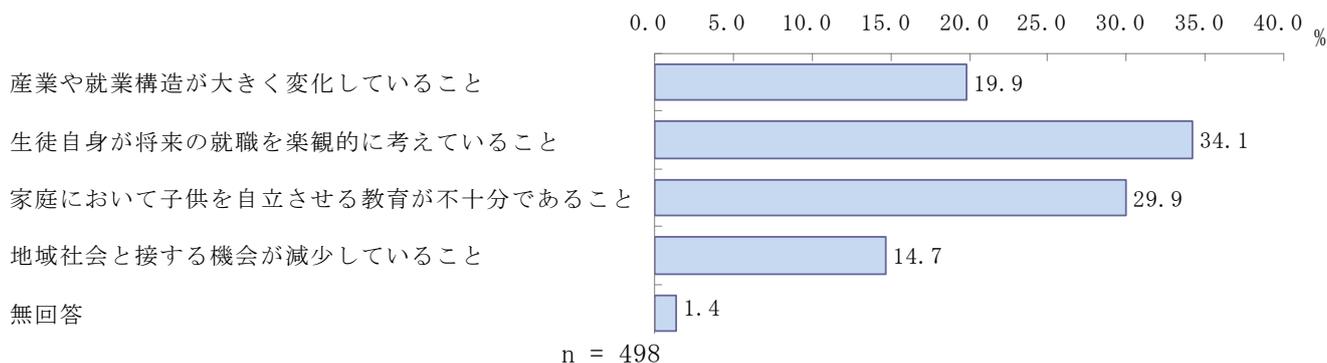
— 「生徒に勤労観や職業観が身に付いていると感じていますか」については、否定的意見が 33.4%と多い—

生徒の勤労観や職業観について、「しっかり身に付いている」「概ね身に付いている」を合わせた肯定的意見が 11.9%であるのに対し、「あまり身に付いていない」「まったく身に付いていない」を合わせた否定的意見が 33.4%と多くなっている。

6-3. 生徒に勤労観や職業観が身に付いていない原因

問19 【問18】で4または5を選択された方にお聞きします。

生徒に勤労観や職業観が身に付いていない原因として、次のうち、もっとも影響しているものは何だと思えますか。(1つに○)

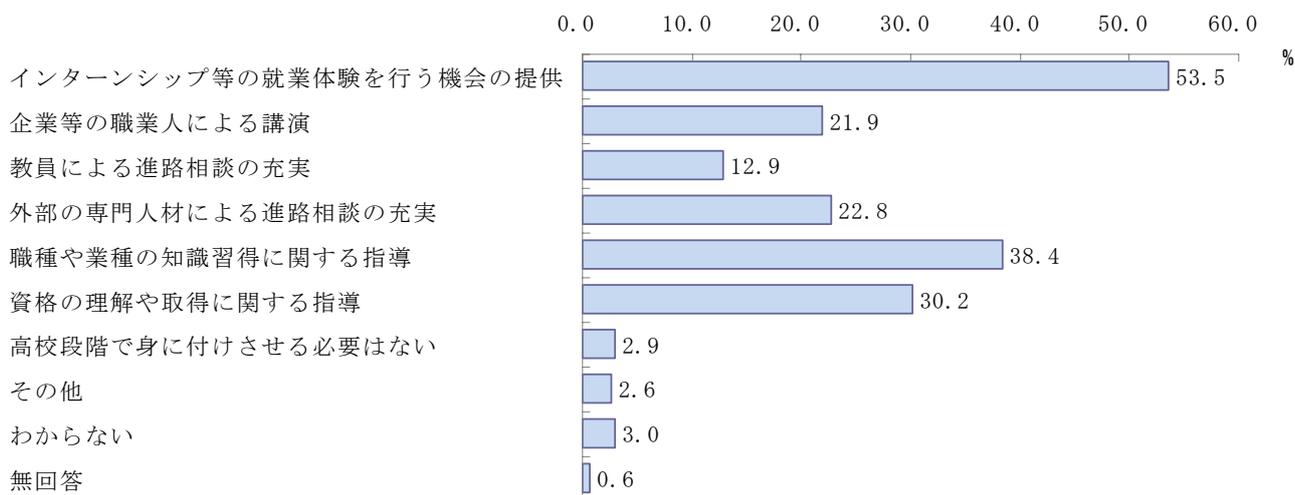


— 生徒に勤労観や職業観が身に付いていない原因については、「生徒自身が将来の就職を楽観的に考えていること」が34.1%と多い —

生徒に勤労観や職業観が身に付いていない原因として、「生徒自身が将来の就職を楽観的に考えていること」が34.1%と最も多く、次いで「家庭において子供を自立させる教育が不十分であること」の29.9%となっている。

6-4. 生徒に勤労観や職業観を身に付けさせるために行うべきこと

問 20 生徒に勤労観や職業観を身に付けさせるために都立高校で行うべきことは何だと思
いますか。(2つに○)



n = 1,489

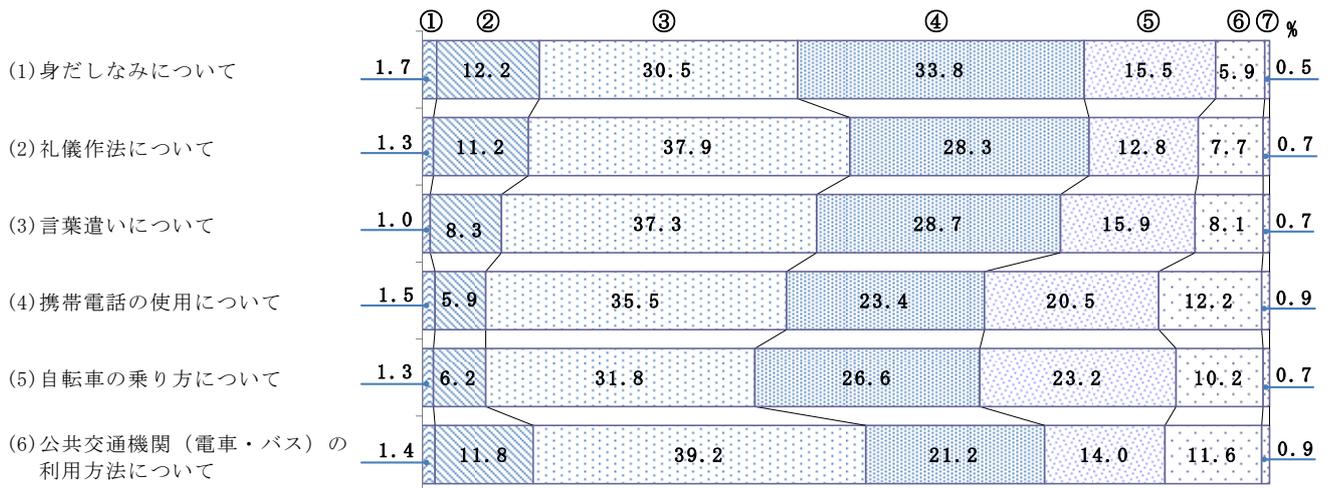
— 生徒に勤労観や職業観を身に付けさせるために都立高校で行うべきことについては「インターンシップ等の就業体験を行う機会の提供」が53.5%と多い —

生徒に勤労観や職業観を身に付けさせるために行うべきこととして、「インターンシップ等の就業体験を行う機会の提供」が53.5%と最も多く、次いで「職種や業種の知識習得に関する指導」の38.4%、「資格の理解や取得に関する指導」の30.2%となっている。

6-5. 都立高校生の素行について

問 21 都立高校生の素行に対してどのような印象がありますか。(項目ごとに1つ〇)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
良い	概ね良い	どちらとも言えない	あまり良くない	良くない	わからない	無回答



n = 1,489

— 「都立高校生の素行に対してどのような印象がありますか」については、「自転車の乗り方について」「身だしなみについて」の否定的印象がほぼ5割と多い—

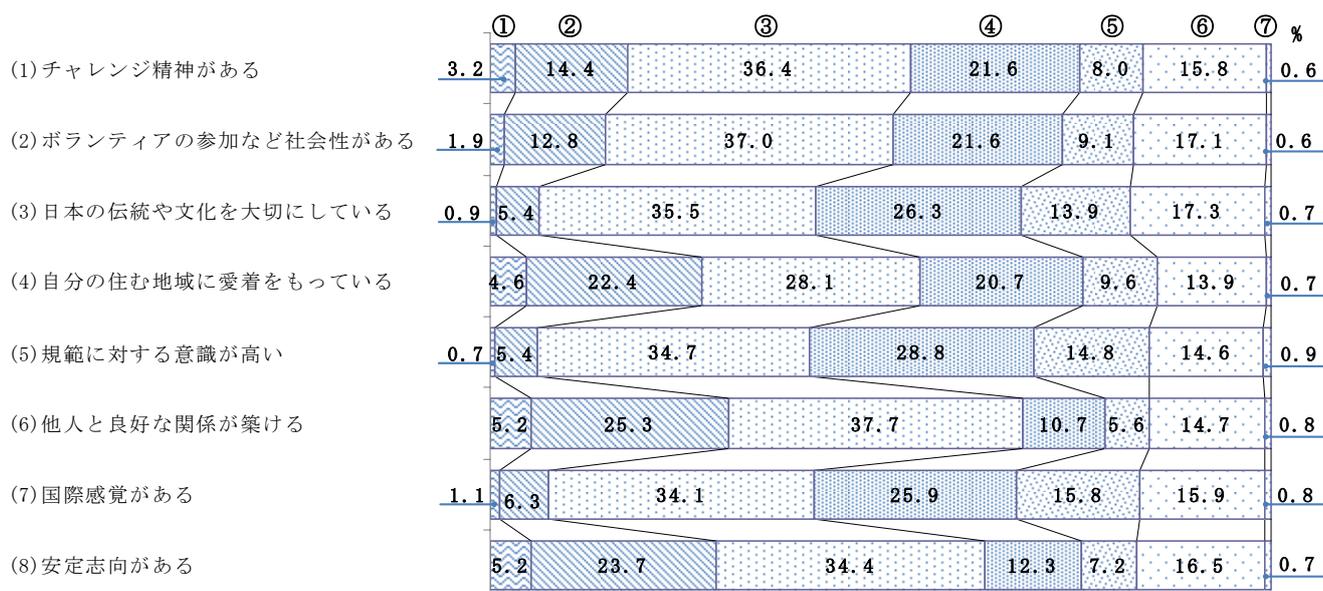
都立高校生の素行に対する印象について、「自転車の乗り方について」の「良い」「概ね良い」を合わせた肯定的印象が7.5%に対し、「良くない」「あまり良くない」を合わせた否定的印象が49.8%、「身だしなみについて」は肯定的印象が13.9%であるのに対し、否定的印象が49.3%と大きく上回っている。

次いで否定的印象として多いのは「言葉遣いについて」の44.6%、「携帯電話の使用について」の43.9%と、全ての項目で否定的印象が多くなっている。

6-6. 都立高校生の印象

問 22 都立高校の生徒に対してどのような印象がありますか。(項目ごとに1つ〇)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答



n = 1,489

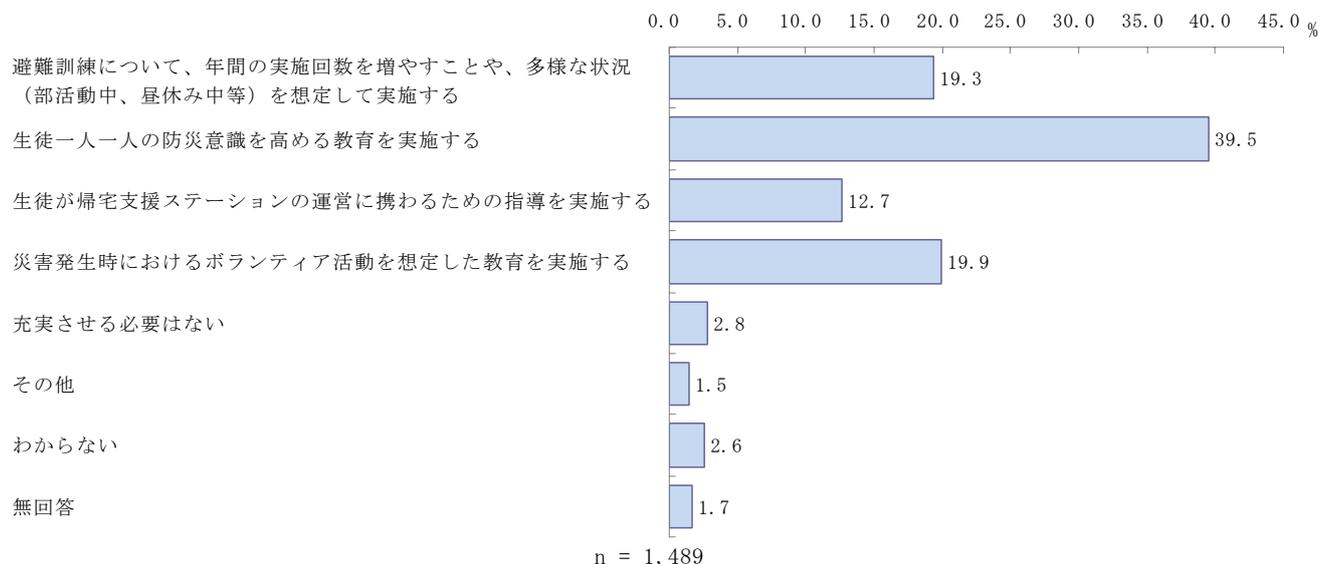
—都立高校生の印象については、「他人と良好な関係が築ける」は肯定的印象が多いが、「規範に対する意識が高い」「国際感覚がある」「日本の伝統や文化を大切にしている」などに否定的印象が多い—

「他人と良好な関係が築ける」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が30.5%と最も多く、次いで「安定志向がある」の28.9%となっている。

一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「規範に対する意識が高い」が43.6%と最も多く、次いで「国際感覚がある」の41.7%、「日本の伝統や文化を大切にしている」の40.2%となっている。

6-7. これからの都立高校生への防災教育

問 23 東日本大震災の発生により、社会から都立高校に対して、防災教育の充実が求められています。これからの都立高校は、どのように防災教育（避難訓練等）を充実させる必要があると思いますか。（1つに○）



《帰宅支援ステーションとは》

外出時に災害が発生し、徒歩での帰宅が困難な方に対する支援の一環として、島しょを除く都立学校は「帰宅支援ステーション」と位置付けています。

帰宅支援ステーションでは、水道水・トイレ・テレビ及びラジオからの災害情報の提供を行うこととしています。

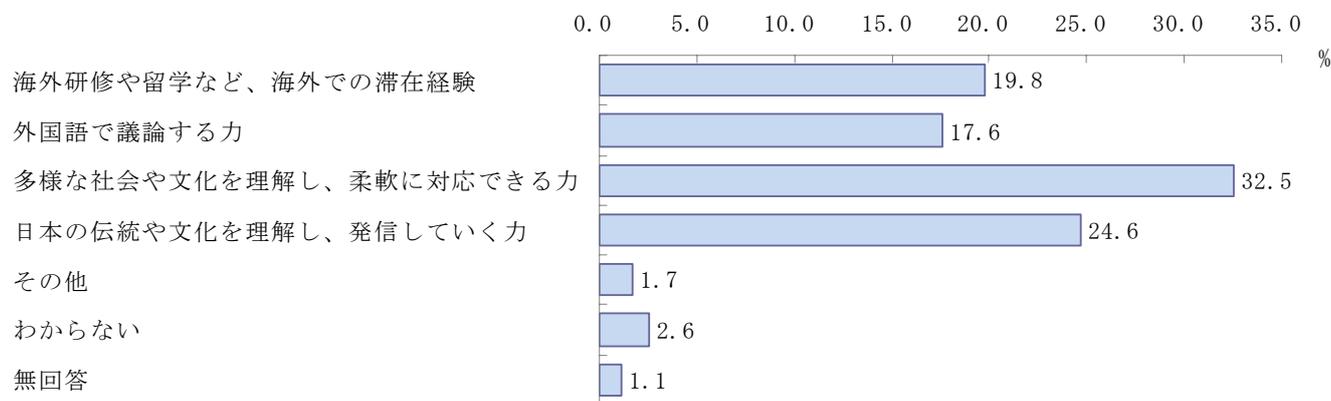
東日本大震災が発生した当日には、都立学校全体で約6,000人の帰宅困難者を受け入れました。

―防災教育を充実させる必要性については、「生徒一人一人の防災意識を高める教育を実施する」が39.5%と最も多い―

防災教育を充実させる必要性について、「生徒一人一人の防災意識を高める教育を実施する」が39.5%と最も多く、次いで「災害発生時におけるボランティア活動を想定した教育を実施する」の19.9%、「避難訓練について、年間の実施回数を増やすことや、多様な状況（部活動中、昼休み中等）を想定して実施する」の19.3%となっている。

6-8. 社会のグローバル化に伴い、今後さらに充実すべき点

問 24 社会のグローバル化に伴い、国際理解教育等を実施していますが、今後さらに充実すべき点はどのようなことだと思いますか。(1つに○)



n = 1,489

—国際理解教育等の実施に関して充実させるべき点としては、「多様な社会や文化を理解し、柔軟に対応できる力」が32.5%と最も多い—

国際理解教育等で充実させるべき点として、「多様な社会や文化を理解し、柔軟に対応できる力」が32.5%と最も多く、次いで「日本の伝統や文化を理解し、発信していく力」の24.6%、「海外研修や留学など、海外での滞在経験」の19.8%となっている。

7. これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）

問 25 これからの都立高校はどうあるべきか、率直なご意見をお聞かせください。

これからの都立高校はどうあるべきかについて自由意見を聞いたところ、回収数 1,489 票のうち、本問について回答のあったものは 961 票（一般：820 票、高校生：141 票）である。

多かった意見は、都立高校の教育に関する意見、都立高校教員に関する意見である。

都立高校の教育に関する意見には、教育内容の充実を図るための「教育内容の改善・充実」に対しての意見と「生活指導の徹底」の意見がみられた。

「教育内容の改善・充実」については、“生徒の個性を尊重して自主的活動を促がすことや、思いやりがある人、自分の意見がしっかり言える人になってほしい”といった意見や、“将来の目標・目的を考えさせるため、企業人や職業人などの講演やインターンシップの機会を与えることや、国際化に対応するための教育が必要だと思う”といった意見が多く寄せられている。

「生活指導の徹底」については、“高校生らしい身だしなみをさせること、校外での行動についても厳しく指導してほしい”といった意見が多く寄せられている。

都立高校教員に関しては、教員の資質向上について“教員の品格や教育理念、指導力を向上してほしい”といった意見が多くあげられた。また、制度の見直しについては“校長先生の在任期間が短すぎる”といった意見、教員への要望としては“生徒との信頼関係を形成するために、熱意をもって生徒に接してほしい”といった意見が多く寄せられている。

その他では、「都立高校教育の制度に関して」、「都立高校の運営について」の意見があり、特に“授業料の現状維持・無償化によって、低所得者層にも質の高い教育を受けられるようにしてほしい”といった意見が多く寄せられた。

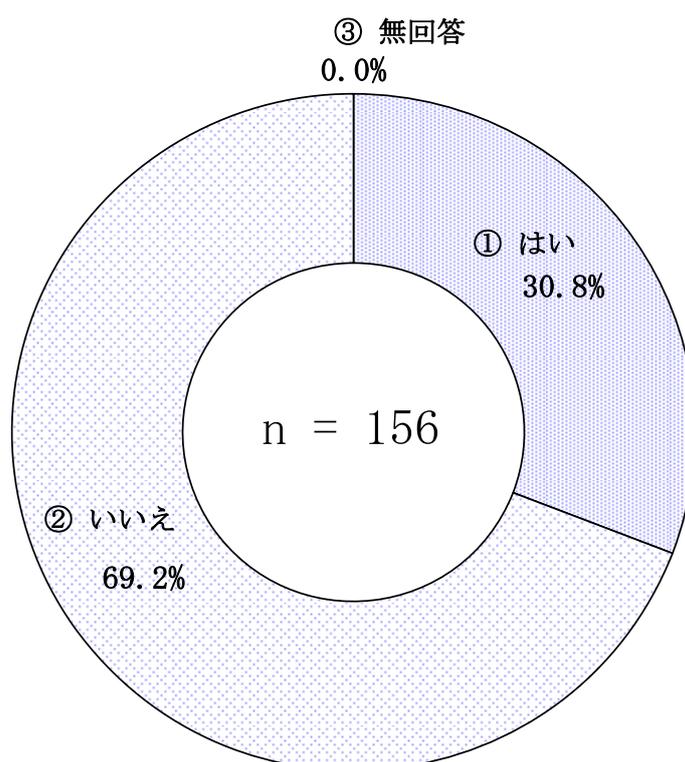
第3章 調査2「企業及び学校を対象とした調査結果の分析」

1. 新卒者の採用について ※ 東京で営業する企業を対象

1-1. 高校新卒者の採用について

問1 貴社では過去3年間に高校新卒者の採用を行いましたか。

【企業】



—高校新卒者の企業採用は、「採用していない」が69.2%と多い—

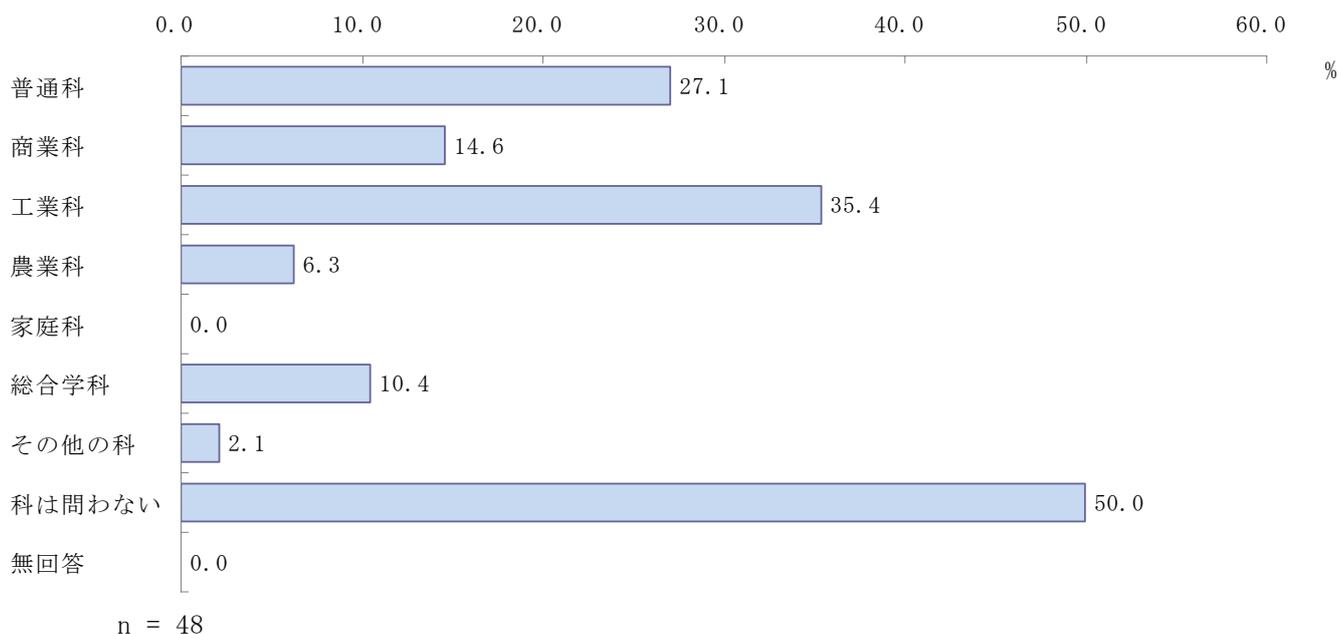
過去3年間に企業が採用した高校新卒者は、「採用している」が30.8%であるのに対し、「採用していない」が69.2%となっている。

1-2. 採用に際しての高校の学科

問2 問1で「はい」の場合、お答えください。

貴社で採用している高校の学科は何ですか。(該当するものに○)

【 企業 】



—企業が採用している高校生の学科としては、「科は問わない」が50.0%と最も多い—

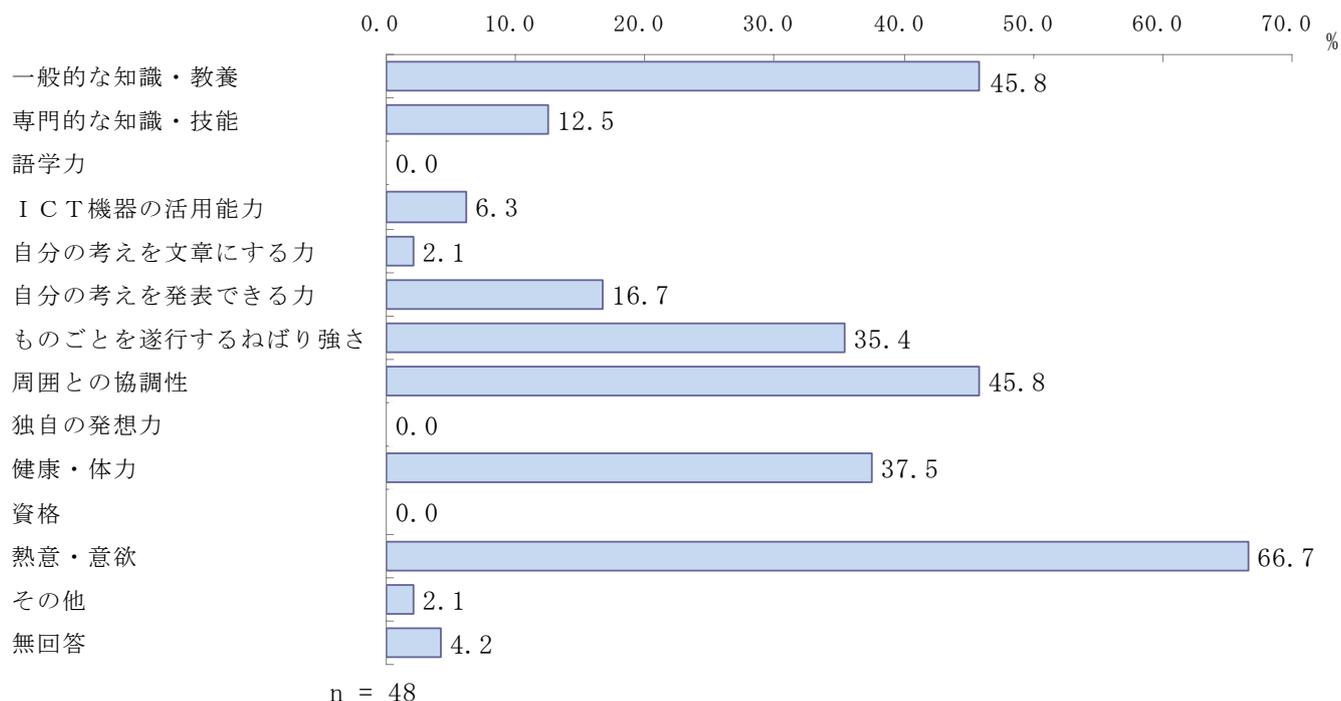
企業が採用に際しての学科について、「科は問わない」が50.0%と最も多く、次いで「工業科」の35.4%、「普通科」の27.1%、「商業科」の14.6%となっている。

1-3. 採用に際し重視する点

問3 問1で「はい」の場合、お答えください。

高校卒業生の採用に際し、重視している点は何ですか。(3つに○)

【企業】



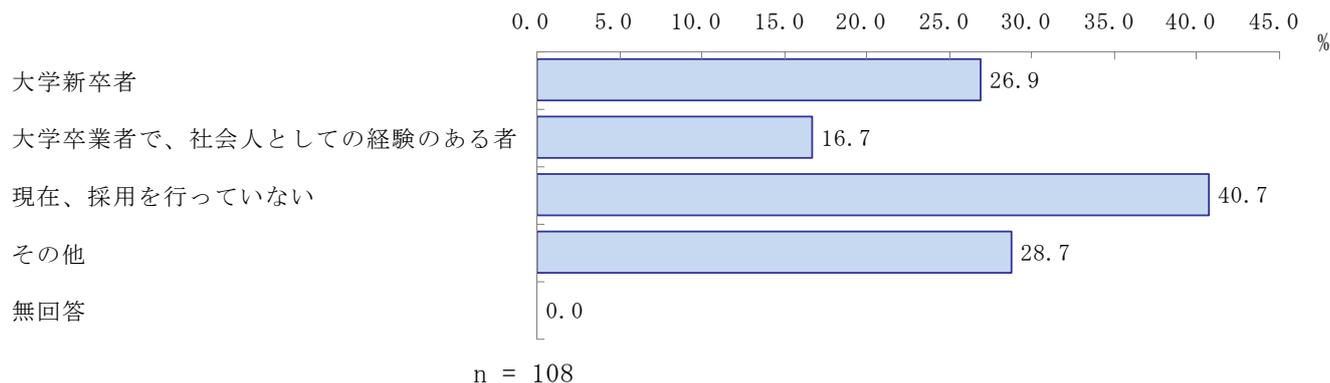
—企業が高校生を採用する際に重視している点としては、「熱意・意欲」が66.7%と最も多い—

企業が高校生を採用する際に重視している点として、「熱意・意欲」が66.7%と最も多く、次いで「一般的な知識・教養」「周囲との協調性」の45.8%となっている。

1-4. 高校新卒者を採用しない場合の採用対象者

問4 問1で「いいえ」の場合、お答えください。
どのような方を対象に採用を行っていますか。

【 企業 】



—企業が過去3年間に高校新卒者を採用していない場合の採用対象者については、「現在、採用を行っていない」が40.7%と最も多い—

企業が過去3年間に高校新卒者を採用していない場合の採用対象者について、「現在、採用を行っていない」が40.7%と最も多く、次いで「その他」の28.7%、「大学新卒者」の26.9%となっている。

その他の回答としては、専門学校や短期大学、経験者の中途採用となっている。

2. 社会に出るにあたり、身に付けてきて欲しいこと

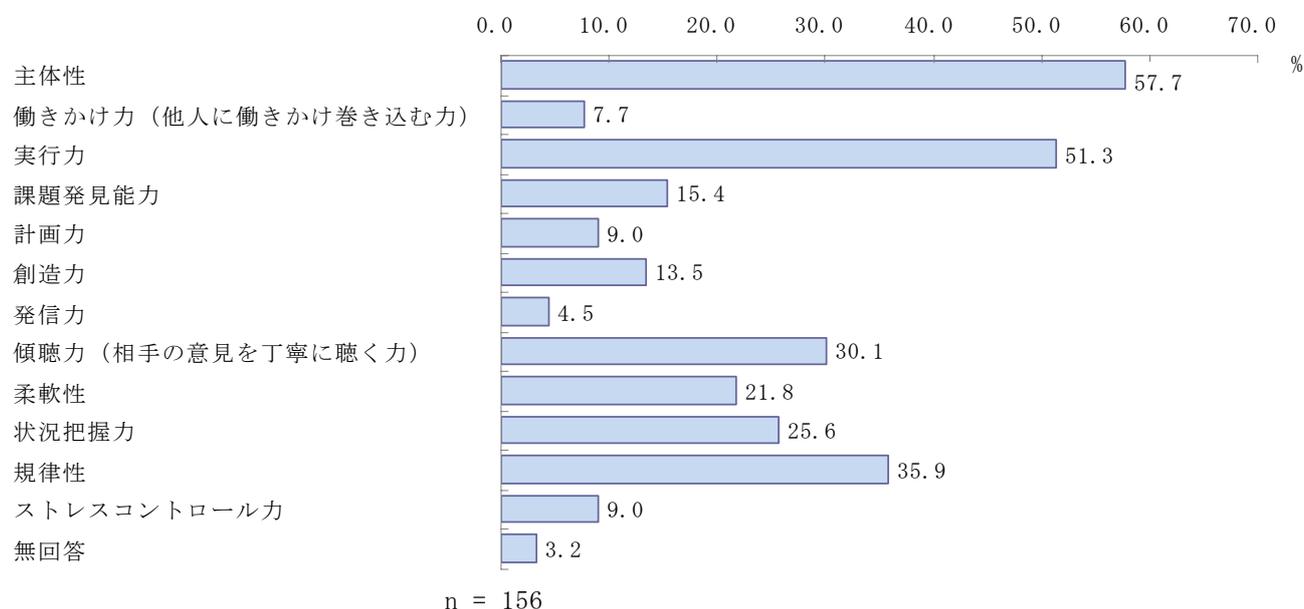
※東京で営業する企業を対象

問5 生徒、学生を問わず社会に出るにあたり、特に身に付けてきてほしいことは何ですか？
(問5-1、問5-2 それぞれ3つに○)

(問5-1) 社会人としての基礎的能力 (3つに○)

○ 社会人としての基礎能力

【 企業 】



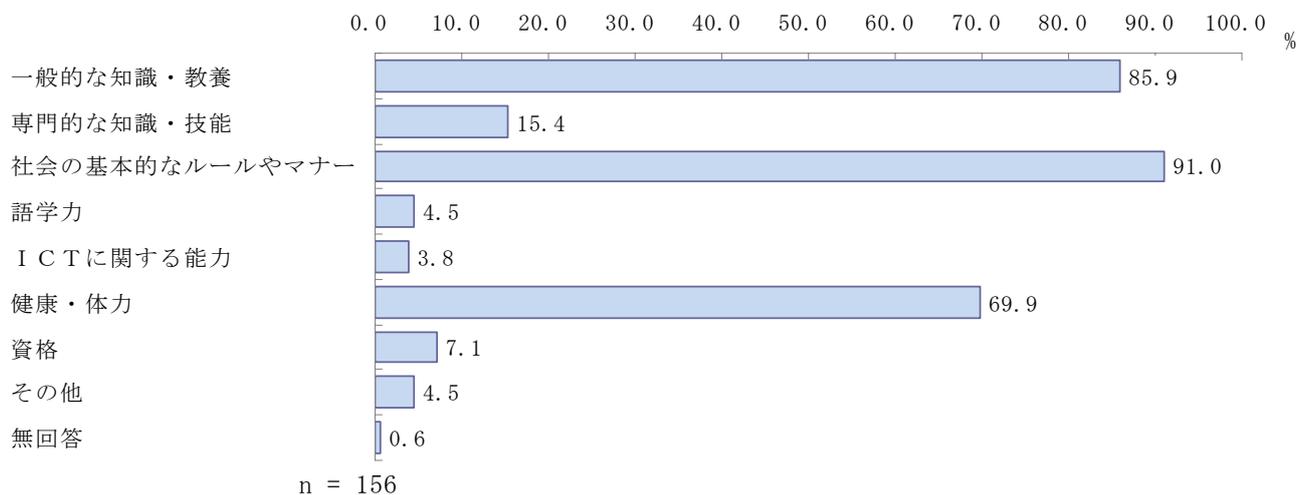
—企業が求めている社会人としての基礎的能力としては、「主体性」が57.7%と多い—

企業が求めている社会人としての基礎的能力として、「主体性」が57.7%と最も多く、次いで「実行力」の51.3%、「規律性」の35.9%、「傾聴力 (相手の意見を丁寧に聴く力)」の30.1%となっている。

(問 5-2) 教養、その他の要素 (3つに〇)

○ 教養、その他の要素

【 企業 】



—企業が求めている教養、その他の要素としては、「社会の基本的なルールやマナー」が91.0%と多い—

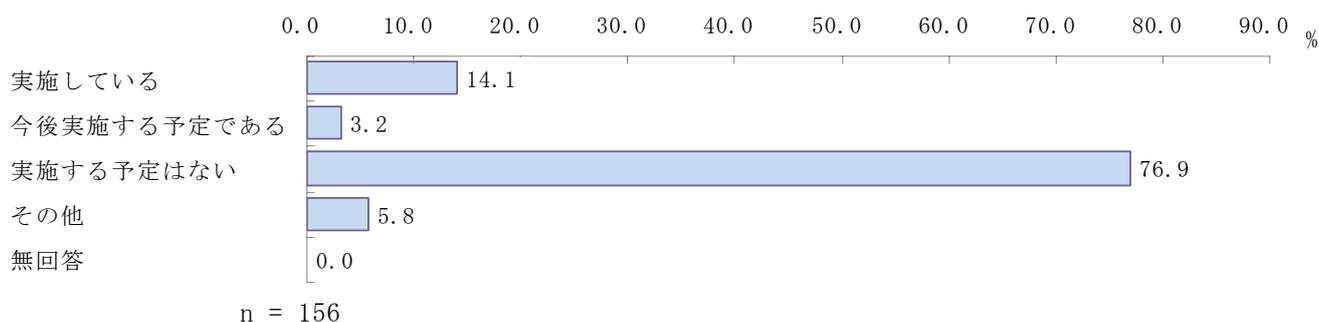
企業が求めている教養、その他の要素として、「社会の基本的なルールやマナー」が91.0%と最も多く、次いで「一般的な知識・教養」の85.9%、「健康・体力」の69.9%となっている。

3. 職場見学等の状況について ※東京で営業する企業を対象

3-1. 高校生を対象にした職場見学やインターンシップの状況

問6 貴社では高校生を対象にした職場見学やインターンシップを実施していますか。

【企業】



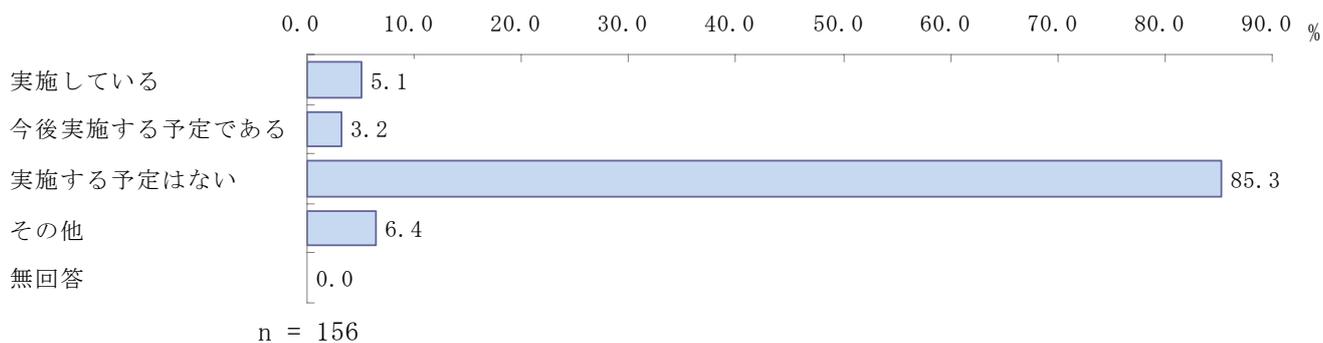
—企業が高校生を対象にした職場見学やインターンシップの実施については、「実施する予定はない」が76.9%と非常に高い—

企業が高校生を対象にした職場見学やインターンシップの実施について、「実施する予定はない」が76.9%と最も多く、「実施している」の14.1%、「今後実施する予定である」の3.2%を大きく上回っている。

3-2. 教員を対象にした職場見学や研修の状況

問7 貴社では教員を対象とした職場見学や研修を実施していますか。

【 企業 】



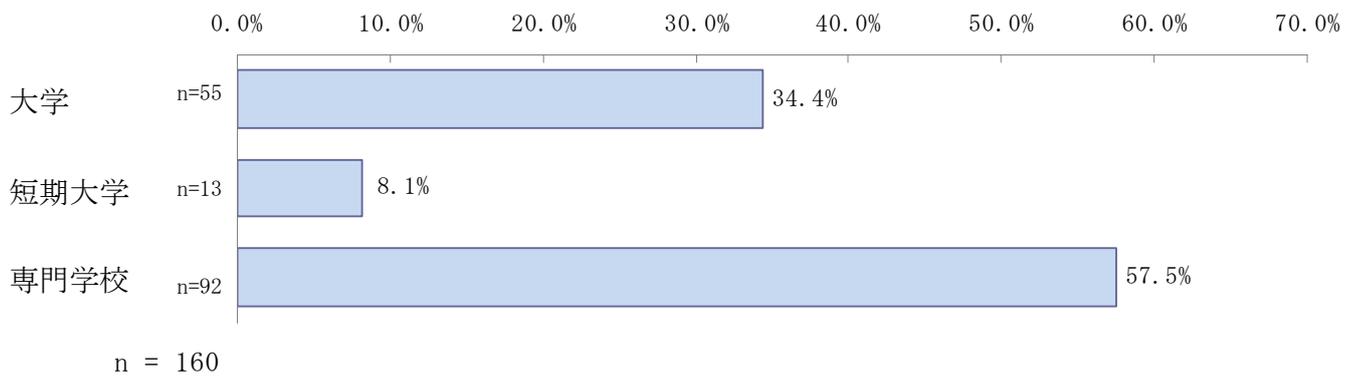
—企業が教員を対象にした職場見学や研修の実施については、「実施する予定はない」が85.3%と非常に高い—

企業が教員を対象にした職場見学や研修の実施について、「実施する予定はない」が85.3%と最も多く、「実施している」の5.1%、「今後実施する予定である」の3.2%を大きく上回っている。

4. 学校の形態 ※ 東京都内の学校関係者を対象

問8 学校の形態を教えてください。

【 学校 】

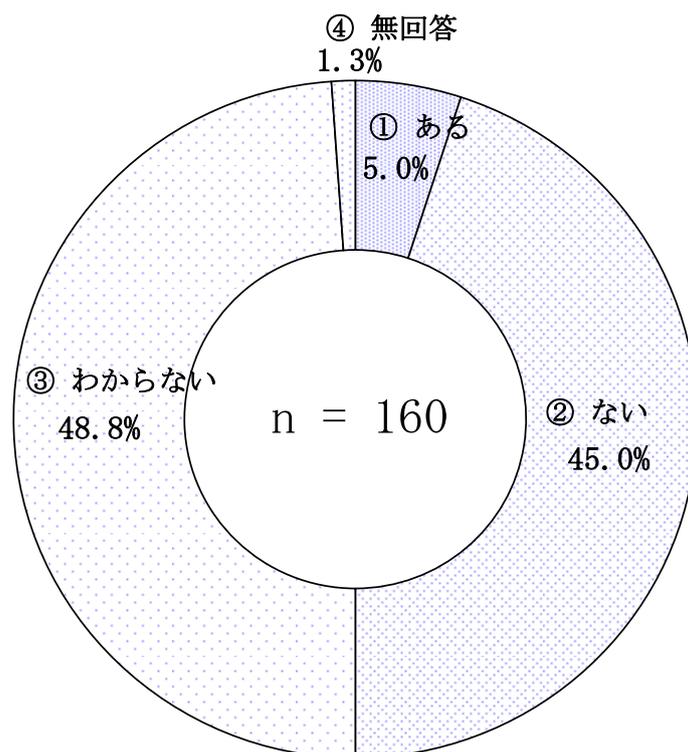


5. 入学してきた学生の印象について ※ 東京都内の学校関係者を対象

5-1. 都立高校卒業生が他の出身生徒と異なる特徴

問9 都立高校卒業生は他の出身生徒と異なる特徴がありますか。

【 学校 】



— 学校関係者に聞いた、都立高校卒業生の他の出身生徒と異なる特徴については、「ない」との回答が 45.0%である —

都立高校卒業生の他の出身生徒と異なる特徴について聞いたところ、「ある」が 5.0%、「ない」が 45.0%との結果となっている。

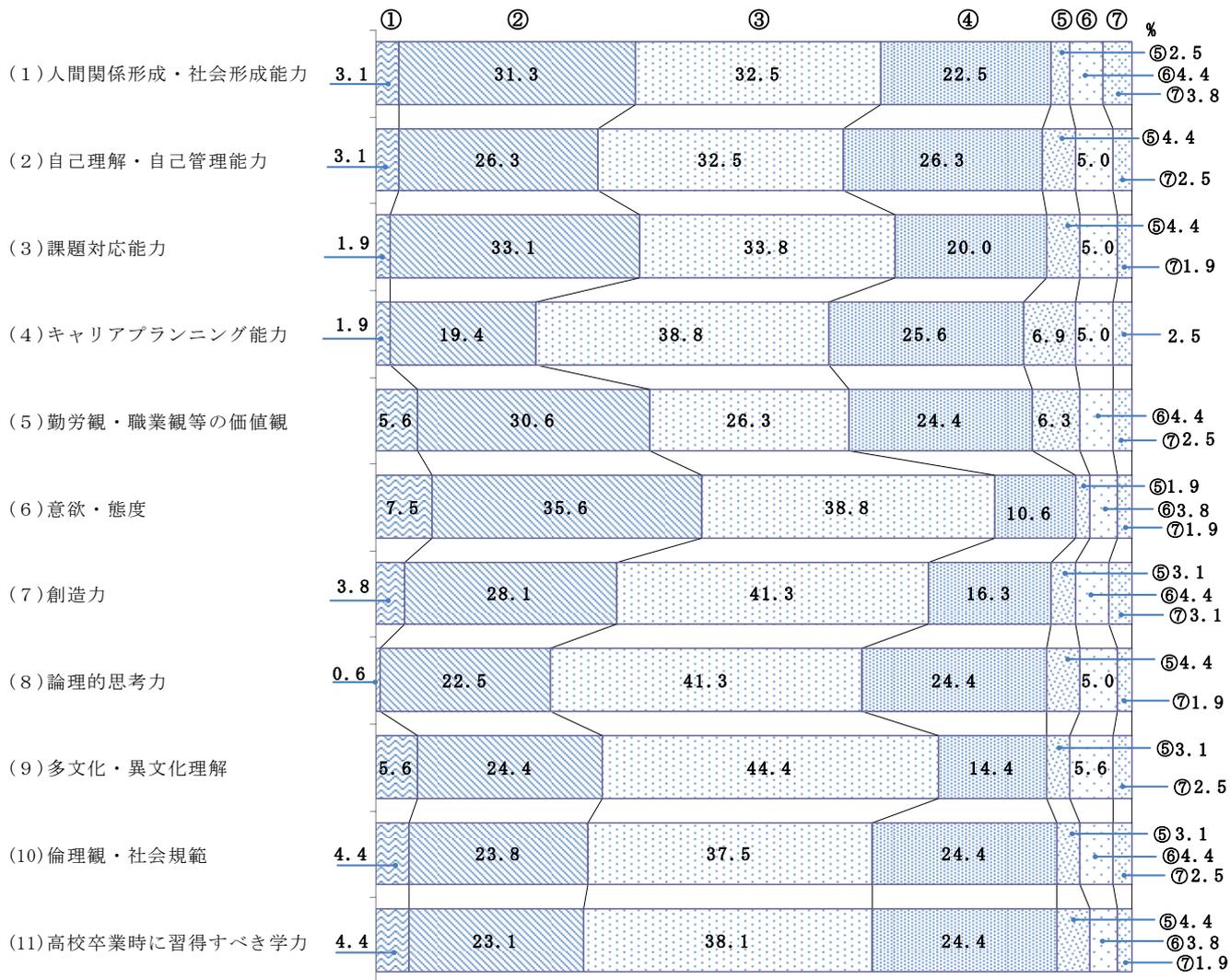
特徴がある場合の具体例として、「目的を持たずに入学している」「粗雑で、礼儀・礼節・約束が守れない」「他者の意見をあまり聞かない」「自己中心的」等の否定的感想が多いが、肯定的感想として「バランスのとれた人柄と伸び伸びとした行動が比較的多い」との意見もみられた。

5-2. 近年入学した学生の能力について

問 10 近年入学した学生について、次の能力は備わっていると感じますか。
(項目ごとに1つ〇)

【 学校 】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
備わっている	多少備わっている	どちらとも言えない	あまり備わっていない	備わっていない	わからない	無回答



n = 160

ー入学した学生に備わっていると感じる能力については、「意欲・態度」が43.1%と多いー

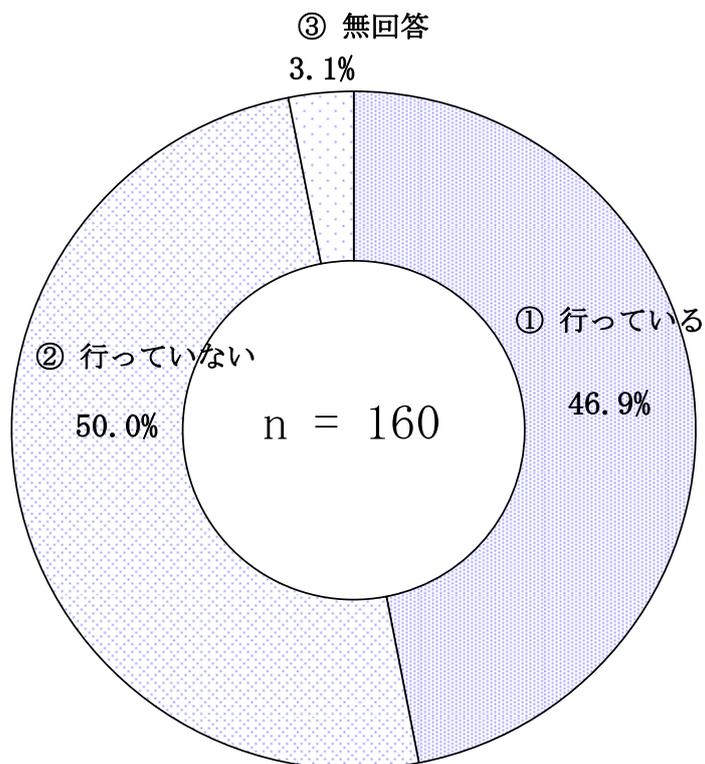
「意欲・態度」について、「備わっている」「多少備わっている」を合わせた肯定的意見が43.1%と最も多く、次いで「勤労観・職業観等の価値観」の36.2%、「課題対応能力」の35.0%、「人間関係形成・社会形成能力」の34.4%となっている。

一方、「備わっていない」「あまり備わっていない」を合わせた否定的意見では、「キャリアプランニング能力」が32.5%と最も多いが、肯定的意見の多かった「勤労観・職業観等の価値観」も30.7%と多くなっている。

5-3. 高校で学習すべきことを習得していない学生への補習について

問11 高等学校で学習すべきことを習得していない学生に対して、補習等の措置を行っていますか。

【 学校 】



—補習等の措置については、ほぼ半数の学校が行っている—

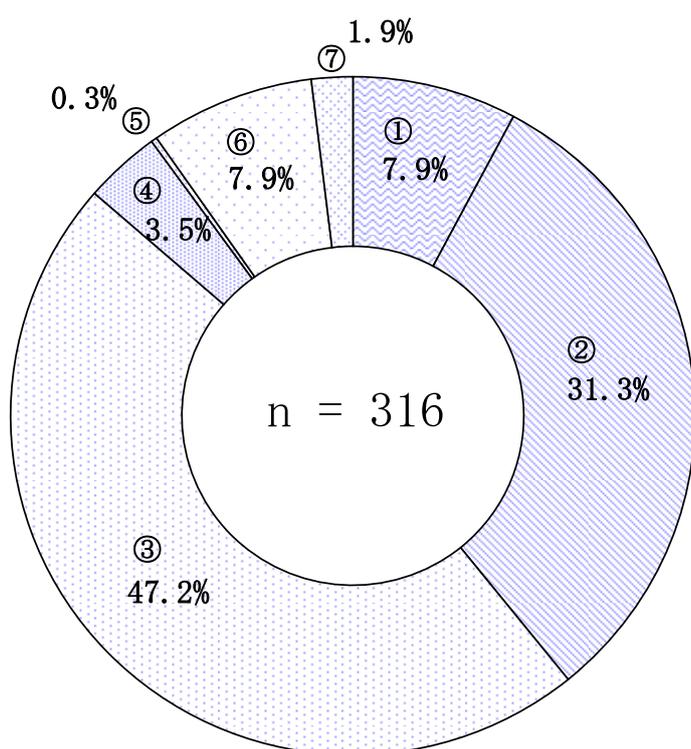
補習等の措置について、「行っていない」学校は50.0%であるのに対し、「行っている」学校は46.9%と、ほぼ半数の学校が実施している。

6. 都立高校の印象について ※企業と学校関係者を対象

6-1. 都立高校の印象

問 12 都立高校についてどのような印象をお持ちですか。(1つに○)

【 企業・学校 】



- ① 良い印象がある
- ② どちらかというの良い印象がある
- ③ どちらとも言えない
- ④ どちらかというの悪い印象がある
- ⑤ 悪い印象がある
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

—企業と学校関係者に聞いた都立高校の印象については、肯定的印象が39.2%と多い—

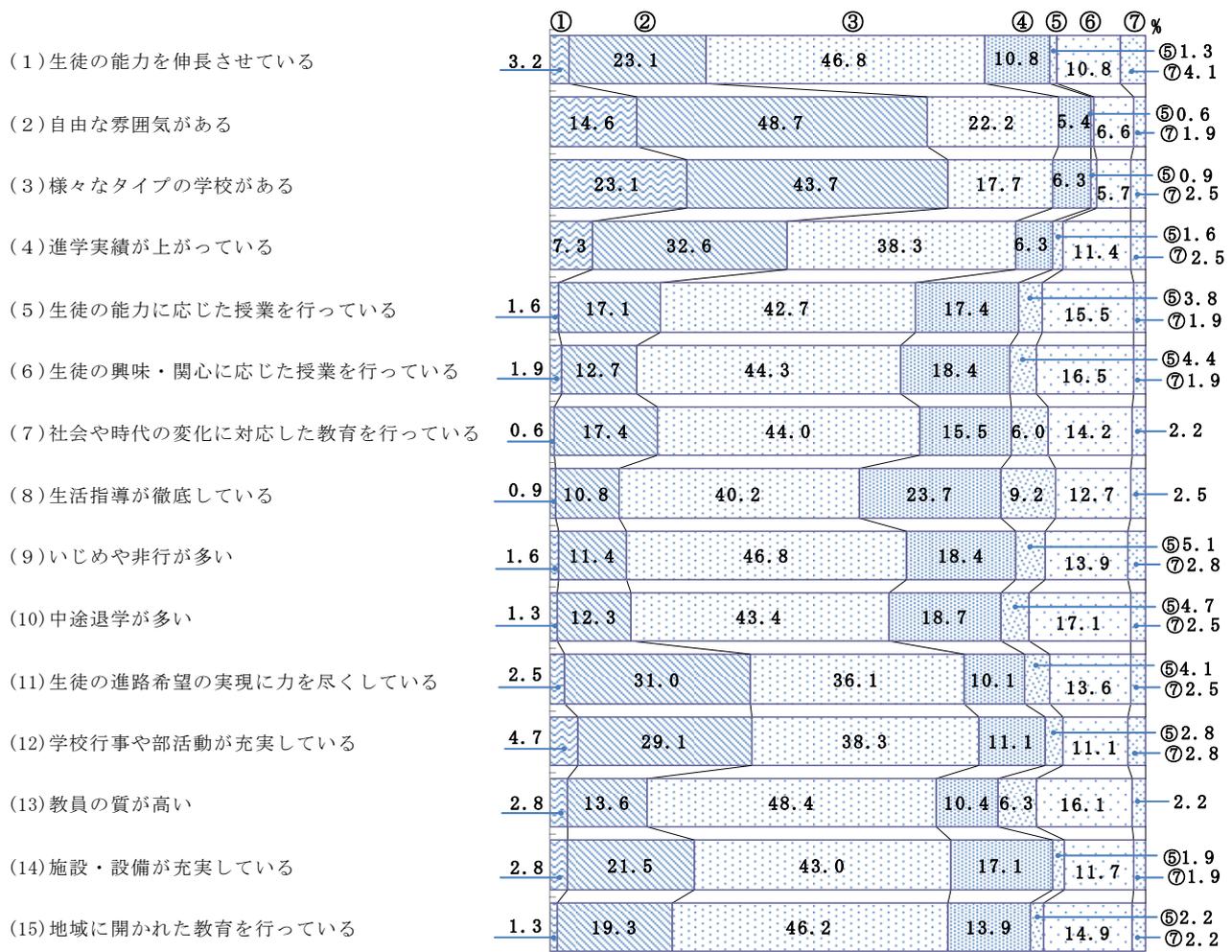
都立高校の印象について、「良い印象がある」「どちらかというの良い印象がある」を合わせた肯定的印象が39.2%と多く、「悪い印象がある」「どちらかというの悪い印象がある」を合わせた否定的印象の3.8%を上回っているが、「どちらとも言えない」が47.2%となっている。

6-2. 都立高校の項目別印象

問 13 都立高校に対する印象は、それぞれどれに該当しますか。(項目ごとに1つ○)

【 企業・学校 】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答



n = 316

—項目別に見ると、「様々なタイプの学校がある」の肯定的印象が66.8%と多い—

「様々なタイプの学校がある」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が66.8%と最も多く、次いで「自由な雰囲気がある」の63.3%となっている。

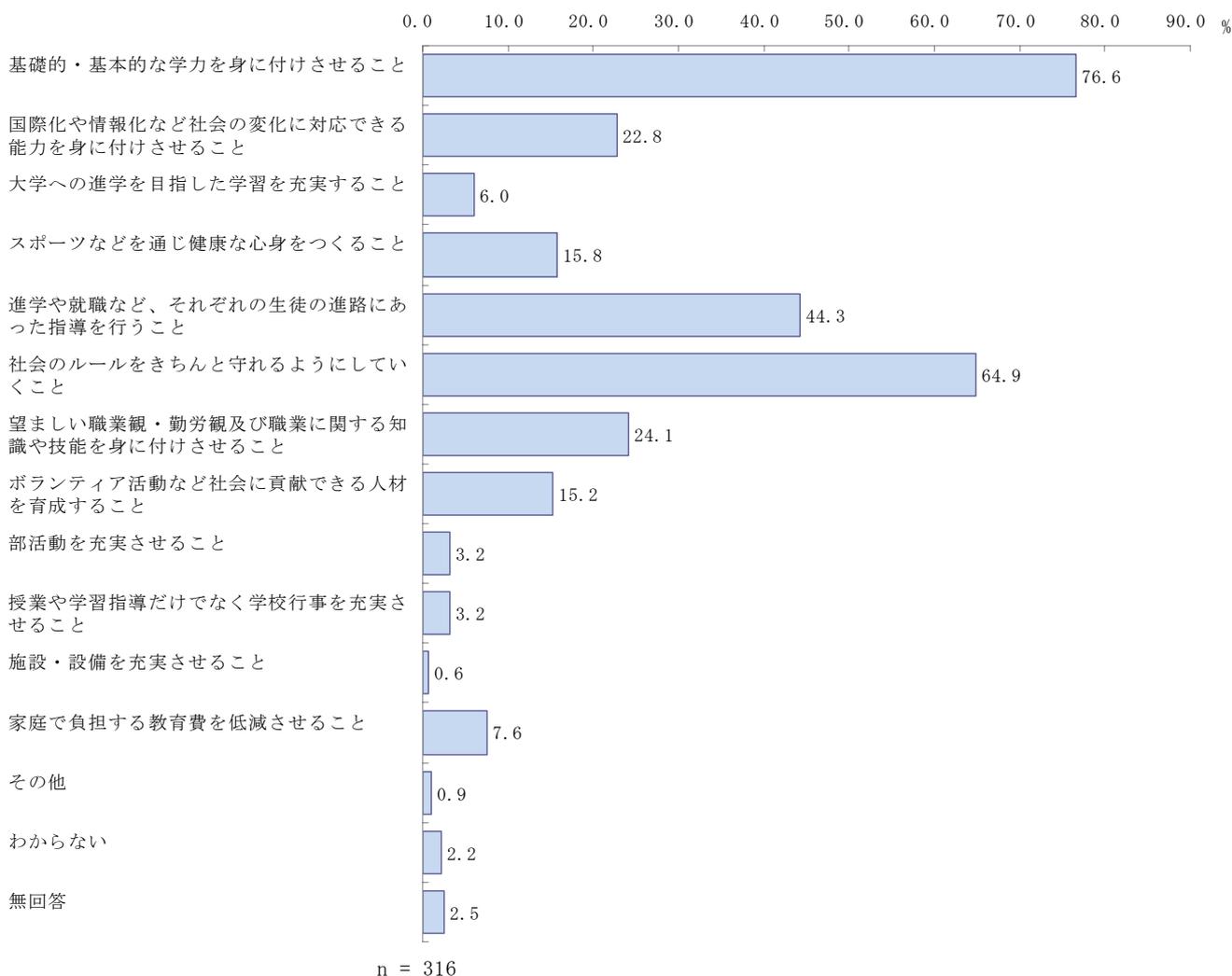
一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「生活指導が徹底している」が32.9%と最も多くなっている。

7. 都立高校の役割について ※企業と学校関係者を対象

7-1. 都立高校に期待する役割

問 14 都立高校に特に期待する役割は次のどれですか。(3つに○)

【 企業・学校 】



— 企業と学校関係者に聞いた都立高校に期待する役割は、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が 76.6%と多い —

都立高校に期待する役割について、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が 76.6%と最も多く、次いで「社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと」の 64.9%となっている。

8. これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）

※企業と学校関係者を対象

問 15 これからの都立高校はどうあるべきか、率直なご意見をお聞かせください。

これからの都立高校はどうあるべきかについて自由意見を聞いたところ、回収数 316 票のうち、本問について回答のあったものは 123 票（企業：51 票、学校：72 票）である。

多かった意見は、都立高校の教育に関する意見である。

都立高校の教育に関する意見には、教育内容の充実を図るための「教育内容の改善・充実」に対するの意見と「生活指導の徹底」の意見がみられた。

「教育内容の改善・充実」については、“社会に対応できる人として、コミュニケーション能力や考える力・課題解決力の向上、職業観・勤労観・協調性・自発性が必要だと思います”といった意見や、“個性や長所をのばしてほしい”といった意見が多く寄せられている。

「生活指導の徹底」については、“社会のルールや倫理観、礼儀・礼節の指導をお願いしたい”といった意見が多く寄せられている。

その他では、「都立高校教員に関して」、「都立高校教育の制度に関して」、「都立高校の運営について」の意見があり、特に“教員の社会性や指導力を向上してほしい”といった意見が多く寄せられた。